

留学ハンドブック 2021

Handbook for Study Abroad 2021



2021年4月1日発行

編集・発行 上智大学グローバル教育センター (2号館 1階)


Sophia University Center for Global Education and Discovery (1st fl, Bldg. No.2)

窓口時間 [授業期間] (月～金) 10:00-11:30 / 12:30-15:30

[授業期間外] (月～金) 12:30-15:30

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1

<https://www.sophia.ac.jp/>

 @Sophia_Global

留学制度の説明会や促進イベントについては、最新情報を Loyola の掲示板（留学関係）で確認してください。

STUDY ABROAD

Handbook for Study Abroad 2021



SOPHIA UNIVERSITY

留学ハンドブック 2021

上智大学 グローバル教育センター

学生留学委員会委員長からのメッセージ

Message from Chairperson of the Sophia Student Exchange Committee

新型コロナウイルス感染症の拡大により、私たちの社会は大きな影響を受けています。皆さんに、いつも通りのキャンパス・ライフを楽しんで頂くことができないことをとても残念に思うとともに、少しでも早く制約のない学生生活を楽しんで頂けるようになることを心から願っています。

上智大学への入学が決まったとき、在学中に留学したいと考えていた方は多いのではないのでしょうか。外国の大学でなければ学べないものを学ぶため、日本から飛び出して視野を広げるため、日本とは違う社会や文化に触れるため、様々な国の人と繋がるため、語学を磨くためなど、様々な理由があると思います。そうした皆さんの留学に対する気持ちに伝えるため、上智大学では、様々なタイプの留学プログラムを用意しています。また、交換留学協定校も61カ国332校(2021年3月現在)に及びます。この充実した留学プログラムを活用して、毎年、300名以上の方が留学を経験してきました。

しかし、昨年度は新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、皆さんの健康と安全を守るため、学生の皆さんに留学の中止をお願いせざるを得なくなりました。既に留学中の方には、留学を取りやめて帰国するようお願いしました。

現在も状況は予断を許しません。このハンドブックでは、冒頭で新型コロナウイルスへの対応と留学について纏めて読むことができますので、まずはこのページから読んでいただくと良いでしょう。現時点では、いつ、どの国に留学して頂けるようになるかははっきりしないと云わざるを得ませんが、皆さんには国境を越えた学びの機会を求め、気持ちを失わないでいて頂きたいと思います。実際のところ、留学には準備が必要です。留学を再開できるようになるその時に備えて、このハンドブックを手がかりに、今のうちからしっかりと準備をして頂ければと思います。

新型コロナウイルスは、現状、外国との行き来を困難にしていますが、他方で、私たちの社会が国境を越えて繋がっていること、そして、グローバル化した社会の共通の課題に協力して取り組んでいくことが大切であることを改めて認識させました。今後の国際社会はますますグローバル化していくと思います。上智大学で学ぶ皆さんには、新しいグローバル社会に貢献できるような人材になって頂きたいと願っています。

出来ないことを探すよりも、出来ることを探すことの方が大切です。オンラインでのコミュニケーション・ツールの活用も広がっており、留学できない期間であっても、様々な国の方々と繋がったり、外国の大学の教育プログラムに参加したりすることも容易になってきています。皆さんには、留学に向けた準備を進めつつ、多様な学びの機会を活用して頂き、より一層グローバル化した社会で活躍するため、自分自身を磨いて頂きたいと思います。

学生留学委員会委員長 森下 哲朗 教授

Chairperson of the Sophia Student Exchange Committee, Professor Tetsuo Morishita
グローバル化推進担当副学長／法学研究科教授
Vice President for Global Academic Affairs/ Professor, Graduate School of Law

新型コロナウイルス感染症への対応と留学について

【留学の状況について】

新型コロナウイルス感染症の世界的な流行で、上智大学でも昨年度に続き2021年度春学期までの渡航を伴う留学は全て中止となりました。2021年3月現在、留学の再開時期は未定です。これは、本学が国の方針に基づき、海外留学プログラムの実施基準を外務省の海外治安・感染症レベル1以下とする中、全世界の感染症危険レベルが2以上であることが理由です。また、海外渡航・入国の水際対策が継続され、留学目的での自由な往来が物理的に困難な状況に変わりないこと等も踏まえた決定です。今後、渡航を伴う留学再開には、みなさんが安心して渡航、留学できるよう、最低限以下の条件が満たされる必要があります。

- ・外務省の海外安全・感染症危険レベルが1以下となること (p.52～も参照)
- ・渡航予定の国での日本からの入国・滞在制限がなく、渡航に支障がないこと
- ・信頼できる受け入れ先があり、留学先大学から受入の許可が出ること
- ・上智大学側での渡航に際しての許可を得られること

このハンドブックに記載されている各種プログラムやスケジュールは、年度当初の予定で記載されており、今後の状況によって変更が生じます。そのため、必ずご自身で最新の情報をLoyola、大学HP、ガイダンス等で確認してください。

【上智大学の取組み】

このような状況下で、渡航をせずに参加できるグローバルな学びの機会が増えています。2020年度は、留学先大学の授業をオンラインで履修したり、海外短期プログラムのオンライン版に参加した学生がいました。また上智大学では2018年度からCOIL (Collaborative Online International Learning) を推進しており、海外の大学とのオンライン協働学習を行っています。COILは授業科目同士が連携する新しい形のグローバル教育です。カリキュラム上や様々な事情で渡航が難しい学生にも、渡航が制限されている中でも参加し易く、また留学とは違った学びがあります。是非こういったオンラインの学習機会にも積極的に参加してください。

※実績はp.6参照

学生の声：

- ・時差があったため、体調面を整えつつ、工夫して参加できた。
- ・日本で就職活動をしながらのオンラインでの留学で、時間を効率よく使えた。
- ・チャットで質問でき、対面より不明点を気軽に先生に聞きやすかった。
- ・今後オンラインを活用して海外とやり取りする場面が増えそうなので、具体的にどのようにしたら進めやすいかを体験することができた。
- ・以前からジェンダーやダイバーシティーに関連する問題に興味があり、学科や全学共通科目の授業でも、関連する授業をとり、積極的に勉強してきました。また、費用や健康の問題からなかなか手を出せていなかった留学も、今回はオンラインで開催してくださるとのことで、COIL型授業なら私でも参加できると思いました。

CONTENTS 目次

Regarding items marked with “*”, there are brief explanations in English from P.62 for students in English-taught Undergraduate / Graduate Programs.

学生留学委員会委員長からのメッセージ

Message from Chairperson of the Sophia Student Exchange Committee

新型コロナウイルス感染症への対応と留学について

Information on COVID-19 and Study Abroad 1

2021年度イベントカレンダー Events Calendar 2021 4

数字で見る上智大学の留学 Study Abroad at Sophia in numbers 6

留学モデルケース 8

Q&A 10

第I部 上智大学での留学 Studying Abroad at Sophia University

A. 留学を決める前に Before Deciding to Study Abroad 13

B. 留学を決めたら Preparation for Study Abroad 14

C. 情報収集 Collecting Information 15

D. 上智大学での留学の種類 Study Abroad Programs at Sophia University 18

(1) 長期留学 Long-Term Study Abroad 20

① 交換留学 Sophia Exchange Program

② 一般留学 General Study Abroad

③ 休学留学 Studying Abroad during Leave of Absence

④ インターンシップ科目(中期・長期) Internship Courses (Medium・Long-Term)

(2) 短期留学 Short-Term Study Abroad 21

① 海外短期語学講座 Overseas Short-Term Language Programs 21

② 海外短期研修 Short-Term Study-Abroad Programs 23

③ 実践型プログラム Social Engagement Programs 25

④ インターンシップ科目(短期) Internship Courses (Short-Term) 27

第II部 交換留学 Sophia Exchange Program

1. 交換留学出願手続等

Application Procedures for Sophia Exchange Program*

A. 募集時期 Application Deadlines and Selections* 29

B. 出願および留学資格 Eligibility and Requirements* 30

C. その他出願の留意点 Notes of Importance* 31

D. 出願に必要な書類 Application Materials* 32

E. 選考方法 Selections* 32

F. 交換留学学内選考試験合格後の手続き
Procedures after Internal Selection* 32

G. 交換留学時に見込まれる費用 Estimated Costs for Exchange Program 33

2. 目的に合わせた交換留学プログラム Various Exchange Programs

A. 英語集中コース

Intensive English Course 34

B. Sophia AIMS (SAIMS) プログラム Sophia AIMS (SAIMS) Program 36

C. Sophia-Nanzan Latin America Program (LAP) 36

D. ACUCA 枠交換留学 ACUCA SMS Program 38

E. 3キャンパス枠交換留学(上智大学・西江大学・香港城市大学
3キャンパス東アジア地域研究国際共同プログラム)

Three-Campus East Asian Studies by Sophia University-

Sogang University-City University of Hong Kong 38

第III部 大学院生の留学 Study Abroad Program for Graduate Students

1. 在学中の留学 Study Abroad Programs at Sophia University

A. 交換留学プログラム Sophia Exchange Program 40

B. Graduate Institute (スイス・ジュネーブ) との3+2プログラム 41

2. 海外大学院特別進学制度

Special Admission Program for Overseas Graduate School 42

第IV部 留学に関する規則 Regulations

A. 留学の資格 Eligibility of Study Abroad 45

B. 留学の期間 Duration of Study Abroad 45

C. 留学の延長または取消し Extension or Withdrawal of Study Abroad 45

D. 留学前後の手続一覧 List of Proceedings Before and After Study Abroad 46

E. 履修登録について Course Registrations 47

F. 単位換算について Credit Transfer* 47

第V部 留学に必要な準備 Preparation for Study Abroad

1. 留学中の留意点 Things to Remember while Studying Abroad

A. 危機管理 Crisis Management 52

B. 海外留学保険および危機管理サービスへの加入義務について
Compulsory Study Abroad Insurance and Safety Management Service 54

C. メンタルヘルスについて Mental Health 55

2. 留学のための語学能力試験 Language Proficiency Tests for Study Abroad

A. TOEFL iBT® テストについて Information on TOEFL iBT® 56

B. IELTS™ について Information on IELTS™ 57

3. 留学費用について Costs of Study Abroad

A. 滞在費について Living Expenses 58

B. 海外勉学中の上智大学学費について
Sophia Tuition during Study Abroad 58

C. 奨学金について Scholarships 59

General Information on Study Abroad for Students
in English-taught Undergraduate / Graduate Programs* 62

交換留学協定校一覧 Information on Exchange Partner Institutions 72

2021年度イベントカレンダー

※新型コロナウイルス感染状況によって変更となる可能性があります。最新の情報はLoyola掲示板や大学からの

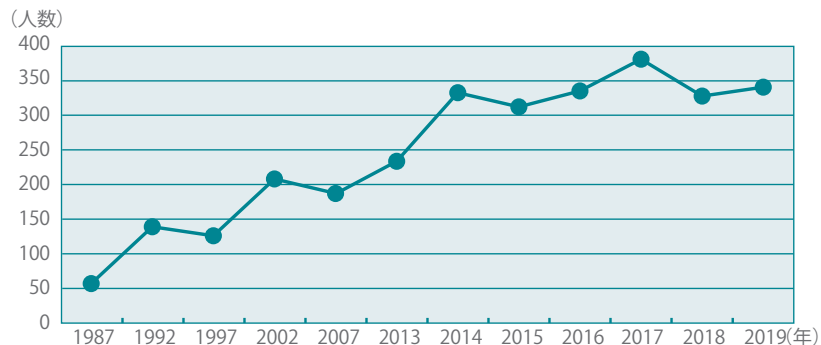
お知らせを確認してください。

	年	2021										2022					
		学期	春学期					秋学期					春学期				
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6以降
長期留学	交換留学 SAIMS・LAP	春 (2022年2月～3月出発)	募集要項公開 (Loyolaダウンロードセンター)	募集説明会	6月上旬 6月下旬 7月	願書受付 面接 合否発表 合格者ガイダンス					渡航前 オリエン テーション		2月～3月出発				
	英語集中 コース	2022年8月 出発				募集説明会	募集要項公開 (Loyolaダウンロードセンター)	募集説明会		募集説明会	10月上旬 11月 12月	願書受付 面接 合否発表 合格者ガイダンス				渡航前 オリエン テーション	8～9月 出発
	インターンシップ 科目(中期・長期) ※実習先(国内・ 海外)によって異 なる【右記は一例】	(前学期) 申込受付・選考・ 履修者決定	ガイダンス・ 事前講義・ 実習	実習	実習・ 事後講義	申込受付・ 選考・履修者決定				ガイダンス・ 事前講義・ 実習	実習	実習・ 事後講義	申込受付・ 選考・履修者決定	ガイダンス・ 事前講義・ 実習	実習		
短期留学	海外短期 語学講座 海外短期研修	休暇中 プログラム	19～21日 夏期プログラム 申込受付 (英語圏)	10～12日 夏期プログラム 申込受付 (英語圏以外)	オリエンテーション	プログラム実施			19～21日 春期プログラム 申込受付 (英語圏)	9～11日 春期プログラム 申込受付 (英語圏以外)	オリエンテーション	プログラム実施					
	実践型 プログラム	休暇中 プログラム	夏期プログラム 申込受付	オリエンテーション	プログラム実施			春期プログラム 申込受付	オリエンテーション	プログラム実施							
	インターン シップ科目 (短期)	募集要項公開 (Loyola掲示板)・ 申込受付	選考・ 履修者決定	ガイダンス・ 事前講義実施	実習	実習・ 事後講義実施			募集要項公開 (Loyola掲示板)・ 申込受付	選考・ 履修者決定	ガイダンス・ 事前講義実施	実習	実習・ 事後講義実施				

数字で見る上智大学の留学

2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大により、渡航を伴う留学を中止したため、

交換留学派遣者数：343名（2019年度）※英語集中コース、LAP、SAIMS等のプログラム含む
上智大学の交換留学派遣者数は増加傾向にあります。本学は「スーパーグローバル大学創成支援事業」に採択されており、今後更なる派遣者数増加、留学プログラムの多様化が見込まれます。



一般留学者数：44名（2019年度）

休学留学者数：245名（2019年度）

海外短期語学講座参加者数：311名（2019年度）

海外短期研修参加者数：93名（2019年度）

実践型プログラム：201名（2019年度）

インターンシップ科目（短期）：15名（2019年度）

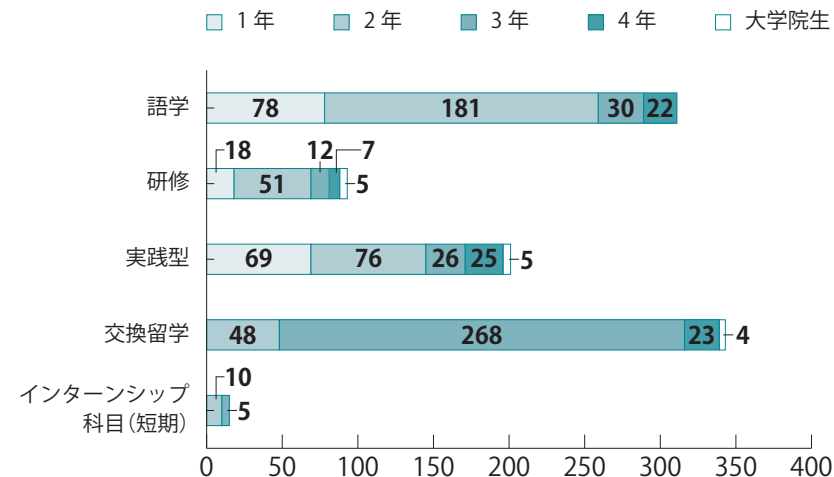
※上記留学プログラムの他、ドイツ語学科・ドイツ文学科在外履修制度等により海外で学ぶ学生も増加しています。

2020年度オンラインプログラム参加者数

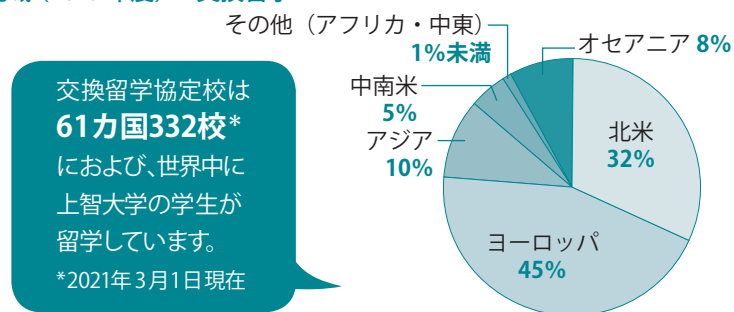
- 交換留学：8名
- 語学：21名
- 研修：1名
- 実践型：18名
- インターン：9名
- COIL型授業：509名

主に2019年度の実績を掲載しています。

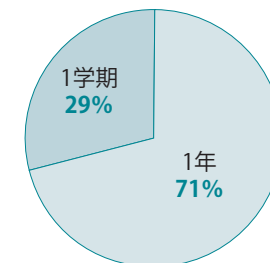
留学年次（2019年度）



留学地域（2019年度）※交換留学



留学期間（2019年度）※交換留学



留学モデルケース

◆3年次春学期から交換留学(1学期間) ①>交換留学に参加したいけれど、4年間での卒業を考えており、余裕をもって就職

情報収集(留学ガイダンス・留学フェア等)	3年次春から1学期間の交換留学を決意!	交換留学学内選考	渡航に向けた準備
→交換留学に行ってみたく、1年・2年次は上智大学での学びも重視したい →現段階ではまだ留学に行くか迷っている	・TOEFL iBT®等、語学の勉強 ・留学先大学の検討 ・必修科目の単位を着実に修得	出願・面接→合格!	・オリエンテーション ・先輩・留学先からの情報収集 ・留学準備講座の履修等
春	秋	春	秋
1年次		2年次	

◆短期プログラム+3年次秋学期から交換留学(1年間) ②>短期留学と長期留学、両方経験してみたい

情報収集(留学ガイダンス・留学フェア等)	海外短期語学講座(英語圏)へ参加	3年次秋から1年間の交換留学を決意!	交換留学学内選考
→短期留学、交換留学両方に行ってみたく!	→初めての海外での学び。楽しかった! →より長い期間滞在したいと思った!	・TOEFL iBT®等、語学の勉強 ・留学先大学の検討	出願・面接→合格!
春	秋	春	秋
1年次		2年次	

◆SAIMS/LAP+交換留学 ③>特殊な交換留学プログラムに興味がある ④>2回交換留学してみたい(*)

情報収集(留学ガイダンス・留学フェア等)	交換留学(SAIMS)学内選考	渡航に向けた準備	1学期間のSAIMS留学へ!
→早い段階で交換留学に行ってみたく! →特殊な交換留学プログラムに参加してみたい! 2年次秋から1学期間の交換留学(SAIMSプログラム)を決意! ・TOEFL iBT®等、語学の勉強 ・留学先大学の検討	出願・面接→合格!	・オリエンテーション ・先輩・留学先からの情報収集 ・SAIMSプログラムで上智に交換留学中の学生との交流 ・事前履修推奨科目の受講	(8~9月出発→12~1月頃帰国) ・東南アジアの言語、文化、経済などを学ぶ →帰国後、もう一度、別の留学先へ交換留学してみたい!
春	秋	春	秋
1年次		2年次	

*通常、交換留学は1人1回のみ参加可能ですが、以下のようにプログラムを組み合わせる場合は、最大2回まで参加する
①LAP+交換留学 ②SAIMSプログラム+交換留学 ③SAIMSプログラム+LAP

◆インターンシップ(短期)+交換留学 ⑤>将来は国際公務員を目指しており、大学でのプログラムを活用して夢をかなえたい

情報収集(留学ガイダンス・留学フェア等)	国連集中研修に参加	国際協力に関する講義を履修し学びを深める	交換留学学内選考
→大学のプログラムを思う存分活用し、卒業後の進路を見据えて計画したい →履修計画と留学計画を綿密にリンクさせ、学びを深めたい		グローバルインターンシップ(短期)国際協力分野出願・合格・履修 ・実習先に関する情報収集 ・事前・事後講義に参加 ・国連機関の日本事務所でのインターン (UNFPF)	出願・面接→合格!
春	秋	春	秋
1年次		2年次	

※注:ここに掲載されたモデルケースはあくまで一例ですので、留学の種類やタイミング、留学期間については各自の状況

活動をしたい ⑥>必修も多く卒業論文も必須の学科。留学も上智大学での授業履修も両方重視したい。

1学期間の交換留学へ!	企業説明会やインターンに参加	卒業論文完成
(2~3月頃出発→5~6月頃帰国) ・帰国後、余裕をもって就職活動開始 ・卒業までの履修計画を検討	・企業説明会やインターンに参加 ・卒業に必要な単位を修得	→卒業!
春	秋	春秋
3年次		4年次

⑦>長期留学の前に、短期留学で自信をつけたい

渡航に向けた準備	1年間の交換留学へ!	帰国(5~6月頃)	就職活動	卒業論文完成
・オリエンテーション ・先輩・留学先からの情報収集 ・留学準備講座の履修等	(8~9月頃出発)	→卒業を1年のばし、余裕をもって就職活動や卒業論文を作成することを決意	・就職活動 ・卒業までの履修計画を検討	→卒業!
春	秋	春	秋	春秋
3年次		4年次		5年目

4年次春から1学期間の交換留学を決意!	渡航に向けた準備	1学期間の交換留学へ!	就職活動開始
・TOEFL iBT®等、語学の勉強 ・留学先大学の検討	・オリエンテーション ・先輩・留学先からの情報収集 ・留学準備講座の履修等	(2~3月頃出発→5~6月頃帰国) ・今後はオセアニアに留学し、専門科目を中心に学ぶ	・卒業に必要な単位を修得 →卒業!
春	秋	春	秋
3年次		4年次	

ことができます。ただし、修業年限に算入する期間は1年間を上限とします。

⑧>国際関係、国際協力分野に興味があり、交換留学にもインターンシップにも参加してみたい

国際協力に関する講義を履修し学びを深める	1年間の交換留学へ!	帰国(5~6月頃)後、就職活動	グローバルインターンシップ(長期)履修	卒業後...
渡航に向けた準備 ・オリエンテーション ・先輩・留学先からの情報収集 ・留学準備講座の履修等	(8~9月頃出発) ・国際協力・開発に関する科目を中心に履修	→就活を通して、企業活動を通じた国際貢献に関心をもつ 「グローバルインターンシップ(長期)」出願・合格・履修	独立行政法人JETROでインターン 卒業前に、企業の海外展開のあり方を学ぶ	企業で職務経験を積んだあと、海外の大学院へ進学したい! 国際公務員を目指したい!
春	秋	春	秋	
3年次		4年次		

に合わせて計画を立てましょう。各留学プログラムの詳細はP.18~をご覧ください。

ここでは、留学についてよくある質問をまとめています。
まずはこのページを読んで確認をしてください。

1. 留学全般について

Questions	Answers
留学にはどのような種類がありますか？	留学は大きく分けて、 <u>長期留学</u> （1学期または1年間）と <u>短期留学</u> （長期休暇期間を利用した数週間程度の短期プログラム）があります。また、長期留学には、 <u>交換留学</u> と <u>私費留学</u> （ <u>一般留学</u> ・ <u>休学留学</u> ）があります。種類により、選考手続き、単位換算の有無、4年間での卒業が可能かどうか等が変わってきますので、比較検討してみてください。 ⇒詳細はこちら：p.18～19
留学についての情報はどこで入手できますか？	上智大学の留学プログラムについての冊子は、主に「留学ハンドブック」と「PROGRAM GUIDE」があります（上智大学のWebサイトからダウンロードしてください）。また、各プログラムの出願要件や情報、TOEFLスコア等の語学要件、先輩学生の留学体験レポートは、 <u>Loyolaのダウンロードセンター</u> や上智大学のWebサイトに随時掲載しています。 どの大学でどのような分野の勉強ができるかは各大学の公式サイトで確認してください。 留学に関する一般的な情報は、各国大使館のWebサイト等も参考になりますので、確認してください。 ⇒詳細はこちら： 【Loyola】Loyola>ダウンロードセンター>グローバル教育センター内の各フォルダ 【上智大学Webサイト】 https://www.sophia.ac.jp/jpn/global/index.html 【学外での情報収集】p.17
留学に行きたいのですが、どこから準備を始めたら良いかわかりません。	留学準備の初期段階にいる皆さんは、留学カウンセリング制度をぜひご利用ください。留学に関する様々な相談ができます。 ⇒詳細はこちら：p.15 また、各種プログラムの出願に関する詳細についてはグローバル教育センター窓口でも随時受け付けています。
留学についての説明会はいつ実施していますか？	上智大学の留学プログラム全体像については、各学期の初め（4月・10月）に実施しています。また、交換留学や短期・実践型プログラムについては、募集前に説明会を別途開催しています。開催日時については、随時Loyolaのグローバル教育センター掲示板やTwitter等でご案内しますので確認してください。

2. 交換留学について

Questions	Answers
交換留学に行くための条件は？	GPAが2.8以上あること、留学を希望する大学の語学要件等を満たすこと、英語圏はTOEFL iBT®のスコアを提出すること（イギリスはIELTS™のスコアも必要）（※いずれも有効期限内のもの）、学科長・保証人の承諾があること、心身ともに健康であること、が最低限の条件となります。詳細は「第Ⅱ部 交換留学」(p.29～)の頁を参照してください。語学要件は、Loyolaダウンロードセンターにて確認してください。
交換留学先大学で取得した単位は、卒業に必要な単位として換算されますか？	交換留学の場合、上限30単位まで換算することができますが、履修した全ての科目について認められるわけではありません。どのような科目が換算され得るのか、事前に所属学科に相談してください。ただし、実際に何単位換算されるかどうかは帰国後に所定の手続きを経たうえで決定されます。 ⇒単位換算時の手続き・条件についてはこちら：p.47～
出発前に受入留学生と交流できる機会や、帰国後学内でできる活動はありますか？	例えば、第2クォーターの期間中に海外からの大学生を対象としたサマーセッションが開講されます。世界中からの留学生と一緒に日本の文化、経済、政治、社会について学ぶことができます。サマーセッションは第2クォーター開始前に特別な履修登録期間が設けられます。（2021年度はオンラインで実施予定、本学学生履修不可） ⇒詳細はこちら： https://www.sophia.ac.jp/eng/admissions/summer/summer_asia/index.html この他、海外からの交換留学生をサポートするボランティア活動や空港送迎アルバイトに参加することもできます。登録はグローバル教育センター窓口で受け付けています。
留学のための奨学金はありますか？	日本学生支援機構の奨学金等、様々な奨学金があります。家計基準や留学先等で条件が異なりますので、詳細を確認のうえ出願してください。 ⇒詳細はこちら：p.59～60
留学すると就職活動にどのように影響しますか？	就職活動の時期等、キャリアセンターにご相談ください。 ⇒詳細はこちら：p.16



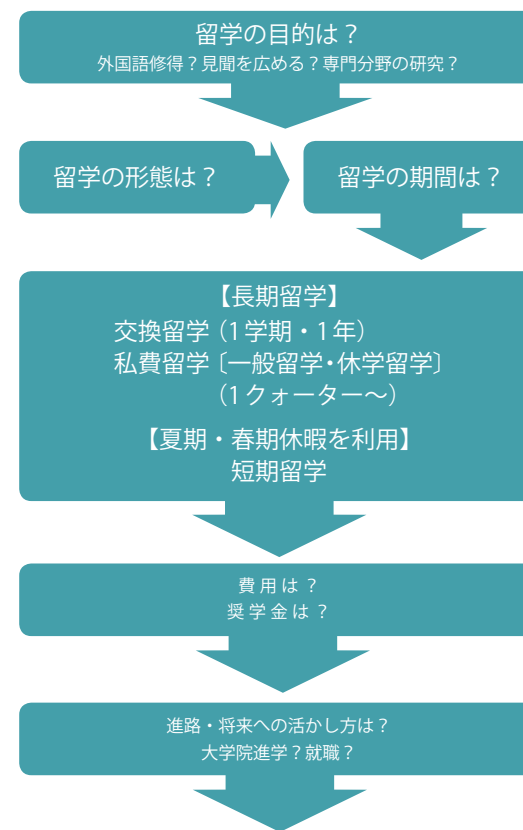
第 I 部 | 上智大学での留学

part1. Studying Abroad at Sophia University



A 留学を決める前に

留学には様々な形態や期間のものがあります。決める前に自分の優先順位を整理してみましょう。



留学の形態や内容により、本学での単位換算の可否や留学期間の修業年限への算入の可否が異なります。また、留学中の授業料や生活費など経済的な準備も欠かせません。留学時期によっては、就職活動と留学期間が重なってしまうケースや卒業時期が延びたりする場合があります。

留学に行くことで想定される様々なケースについて熟考し、海外に行くことを決断する前に、もう一度「いつ、何をどんなふうにも勉強したいか」と「留学経験をその後どのように活かしていきたいか」等、自身のキャリアプランを描き、判断してください。

B 留学を決めたら

留学することを決めたら、準備や手続きの確認に入りましょう。海外の学校への出願やビザの取得など、留学手続きには思っている以上に時間と労力がかかります。留学を決意したら、希望留学先への入学時期などを調べ、逆算してスケジュールを立ててください。プログラムの形態にもよりますが、長期で留学する場合、出願資格を満たすための語学試験受験のため、出発の1年半～2年前くらいから準備する必要があります。春期・夏期休暇中のプログラム参加にも、約4カ月前の申込が必要です。

準備 出発の1年半～2年前

Step 1：留学形態の決定

- 留学の目的を明確化・留学形態の決定
- 申込時期の確認
- 十分な資金があるか家族に相談、奨学金情報の収集
- 卒業時期はどうか、留学と将来の関連性を考える

Step 2：留学先選択

- 一般的な留学情報や希望する国・地域、大学の情報収集
- 希望留学先の絞り込み
- 出願条件確認、語学試験の受験
- (私費留学) 留学先の申込書類取り寄せ
- (交換留学、一般留学) 所属学科長に相談

Step 3：出願

- (交換留学) 出発の概ね1年前に出願・学内選考あり
- 願書その他必要書類を締切りまでに送付

Step 4：留学先大学への入学手続き

- パスポート取得、期限確認
- 入学許可書類の受け取り
- 宿舍手配
- 諸費用の支払い

Step 5：渡航準備

- 予防接種
- ビザ取得
- 航空券・指定海外留学保険・危機管理サービスの加入手配
- 「留学願(交換留学・一般留学)」「休学願(海外勉学)」等を本学に提出

出発

P.4-5に2021年度にグローバル教育センターで取り扱っている各種プログラムのスケジュールを掲載しています！

C 情報収集

[学内での情報収集]

海外留学の実現には、まず手続きの流れや必要な要件、資料等の情報収集が欠かせません。留学準備のための情報収集手段として、学内では下記の窓口等にてサポートを行っています。(窓口時間は新型コロナウイルス感染状況により変更の可能性があります。最新の情報を随時Loyola掲示板や大学のHPで確認してください。)

(1) グローバル教育センター

窓口時間内にいつでも相談できますので、質問のある場合には、気軽に下記各担当へお問合せください。

交換留学(派遣・受入)

海外短期プログラム(語学講座・短期研修・実践型プログラム)

留学カウンセリング、協定締結、海外渡航保険・危機管理サービス加入、その他国際連携に関する業務

インターンシップ科目

グローバル・コンピテンシー・プログラム(GCP)

その他グローバル教育センター開講科目

Sophia Short-term Programs (Summer Session等)

(2) Loyolaダウンロードセンター

交換留学・短期プログラムの帰国レポートや募集要項、交換留学協定校のInformation Sheetなどを確認することができます。

Loyola > ダウンロードセンター > [グローバル教育センター] フォルダ内

(3) 留学カウンセリング制度

留学に関するあらゆる質問に専門の留学カウンセラーがお答えします。特に、一般留学や休学留学など、自身で一から情報収集する必要のある留学制度を利用する学生にお薦めしています。

予約・問合せは以下のメールアドレス・QRコードまたはグローバル教育センターまで。

goabroad-ofc@sophia.ac.jp



〈カウンセリング時間枠〉月～金

① 10:30 - 11:00 (30分)

② 12:40 - 13:20 (40分) * グループ相談可

③ 13:45 - 14:15 (30分)

④ 14:30 - 15:00 (30分)

⑤ 15:25 - 15:55 (30分)

⑥ 16:05 - 16:35 (30分)

※予約優先ですが、空きがあれば随時対応します。

最新の情報は、グローバル教育センター窓口またはホームページで確認してください。

(4) キャリアセンター

キャリアセンターでは、就職活動や進路に関する様々な相談を受け付けています。個別相談は、例年約4,000人の学生が利用しています。簡単な質問であれば窓口でも対応しています。

留学と就職の関連など、気になることがあればキャリアセンターにお問い合わせください。

キャリアセンター 開室時間： 月～金 10：00～16：30
(11：30～12：30は資料閲覧のみ)
※授業期間外は変更あり

また、留学を検討している／留学が決まっている／語学力や留学経験を活かしてグローバルに活躍したいと考えている学生の皆さんを対象に、以下の就職支援プログラムを開催しています。

- ・〈留学検討者対象〉就職活動ガイダンス
- ・留学と就職活動：体験報告会
- ・ボストンキャリアフォーラムガイダンス
- ・英語によるキャリアフェア
- ・語学力を活かして働く卒業生に仕事や働き方についてお話してもらおうセミナー等

プログラムの開催日程・詳細や個別相談の申し込み方法は、「Loyola>就職・キャリア支援>WEBキャリアセンターはこちらから」で確認してください。

[学外での情報収集]

学外における情報収集の一例として、下記のサイトを見てもみるのも良いでしょう。

	内容	リンク先
独立行政法人 日本学生支援機構 (JASSO)	主要国全般および留学基本情報	http://ryugaku.jasso.go.jp/
文部科学省 トビタテ！留学JAPAN	留学に関わる奨学金、留学準備・体験談、留学後の就職についてなど	http://www.tobitate.mext.go.jp/
各国の大使館	各国の現地安全情報等	-
一般社団法人 留学サービス審査機構	第三者団体から認証を受けた留学サービス事業団体の確認が可能	http://www.jcross.or.jp/

D 上智大学での留学の種類

※2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大により、渡航を伴う留学を中止したため、主に2019年度の実績を掲載しています。

学部生

本学での名称	留学先	期間	諸手続き	*学費	単位の換算	留学中の身分(学籍上の扱い) / 4年間での卒業	人数(2019年度)	参照ページ
交換留学	本学と交換協定のある約332大学	1年または1学期	個人／グローバル教育センターの補助あり(選考あり)	上智大学にのみ納入	30単位まで認定可能	留学/可	303	P.29
交換留学(SAIMS)	本学指定のアジアの協定校	1学期					3	P.36
交換留学(LAP)	本学との提携校である中南米諸国6カ国13大学	1年または1学期					15	P.36
交換留学(英語集中コース)	本学指定の協定校	1学期					22	P.34
一般留学	学位授与権のある大学で、事前に学長が許可した大学	1クォーター～2年	個人で行う	上智大学および留学先大学に納入(奨励費の支給有)	30単位まで認定可能	留学/～1年留学の場合可	44	P.20
海外短期語学講座	協定校等が主催する本学指定の講座	3週間～5週間(夏期・春期休暇中)	グローバル教育センター	実費要	語学科目の単位付与可能	在学のまま/可	323	P.21
海外短期研修	協定校等にて実施する本学指定の研修	1週間～6週間(夏期・春期休暇中)	グローバル教育センター(選考あり)		全学共通科目(選択科目)または学科科目として単位付与・認定可能		89	P.23
実践型プログラム	協定校等と実施する本学指定のプログラム	1週間～3週間(夏期・春期休暇中)			全学共通科目(選択科目)の単位付与可能		196	P.25
インターンシップ科目(中期・長期)	本学と協定のある実習先	2～5ヶ月(春・秋学期中)	個人／グローバル教育センター	上智大学に納入	6単位(全学共通科目)		9	P.20
インターンシップ科目(短期)	本学と協定のある実習先	2～6週間(夏期・春期休暇中)	グローバル教育センター	実費要	2単位(全学共通科目)		64	P.27
休学による海外勉学	個人が決定。ただし、学科長の指導要。		個人で行う	上智大学学費は減免措置あり	不可	休学/不可	245	P.20

*本学学費の詳細については、本学公式HP掲載の学費案内参照。

URL : <https://www.sophia.ac.jp/jpn/studentlife/tuition/gakuhiannai.html>

大学院生

本学での名称	留学先	期間	諸手続き	*学費	単位の換算	留学中の身分(学籍上の扱い)	参照ページ
交換留学	本学と交換協定のある約332大学	1年または1学期	個人／グローバル教育センターの補助あり(選考あり)	上智大学にのみ納入	10単位まで認定可能	留学	P.29 / P.40
交換留学(LAP)	本学との提携校である中南米諸国6カ国13大学						P.36
一般留学	学位授与権のある大学で、事前に学長が許可した大学	1クォーター～2年	個人で行う	上智大学および留学先大学に納入(奨励費の支給有)			P.20
海外短期研修	協定校等にて実施する本学指定の研修	1週間～6週間(夏期・春期休暇中)	グローバル教育センター(選考あり)	実費要	理工学専攻のみ可	在学のまま	P.23
実践型プログラム	協定校等と実施する本学指定のプログラム	1週間～3週間(夏期・春期休暇中)			国際関係論専攻のみ可		P.25
休学による海外勉学	個人が決定。ただし、専攻での指導要。		個人で行う	上智大学学費は減免措置あり	不可	休学	P.20

*本学学費の詳細については、本学公式HP掲載の学費案内参照。

URL : <https://www.sophia.ac.jp/jpn/studentlife/tuition/gakuhiannai.html>

*上記の他、インターンシップ科目については、実習先により大学院生の参加が認められるプログラムがあります。大学院生で参加を希望する場合は、事前に相談すること。

(1) 長期留学

① 交換留学

対象：2年次以上（学内選考への応募は1年次の2学期目から可能な場合も有り）
第Ⅱ部「交換留学」を参照ください。

② 一般留学 対象：2年次以上

学位授与権のある大学に、事前に所属学部長・学科長の許可を受けて留学するものです。留学先は自由には選べますが、留学手続きはすべて個人で行い、学費も本学と留学先大学の双方に納入する必要があります。協定校以外の大学については、各国留学情報提供機関を利用するとよいでしょう。学位授与権のある大学であっても、Extension Centerや大学を会場としているだけの公開講座などは対象となりません。また、語学学校等の専門学校は原則として一般留学の対象になりません。特に、大学の関連機関が実施する授業等、大学併設であっても、大学の授業との分別が難しい場合があります。留学前に履修を希望するプログラムや科目等の詳細について、あらかじめ関連資料を持参のうえ、質問・相談内容に応じて、所属学科長、学事センター、グローバル教育センターに確認するようにしてください。

留学先の選定や履修計画に関する質問・相談：所属学科
単位換算、一般留学願提出に関する質問・相談：学事センター
一般留学の制度に関する質問・相談：グローバル教育センター

③ 休学留学 対象：全年次

本学を休学して海外勉強するもので、留学先の制限はありません。休学期間の授業料は減額されますが、休学期間は修業年限に算入されないため、4年間で卒業することはできません。本学休学中に留学先で単位を取得しても、本学での単位認定はできません。

④ インターンシップ科目（中期・長期） 対象：2年次以上（実習先により異なる）

上智大学と協定を結んだ国際機関やグローバル企業等において2～5カ月インターンシップ（就業体験）をし、事前・事後の講義受講や課題提出を行うことで全学共通科目（選択科目）の単位が付与されます。学生は、グローバルビジネスや国際協力の現場に身を置くことで、その構造、意義、課題を認識し、当該分野への理解を深め、実践的な課題解決能力を身につけることができます。長期におよぶインターンシップの現場では、常に主体的、積極的に学ぶ姿勢が求められ、座学だけでは身につけることが難しい経験を得ることができます。中期は2Qと夏期休暇期間中、長期は春・秋学期中にそれぞれ設定されています。

・対象科目：「グローバルインターンシップ(中期)」、「グローバルインターンシップ(長期)」

(2) 短期留学

短期留学は、夏期・春期休暇期間中に実施するもので、「海外短期語学講座」「海外短期研修」「実践型プログラム」「インターンシップ科目（短期）」の4カテゴリーに分かれます。

① 海外短期語学講座

本学の交換留学協定校等の付属語学学校が主催する語学講座に参加し、語学力向上を図るプログラムです。

各プログラムは本学の開講科目として取り扱われ、事前指導に全て参加し、留学先で所定の成果を修めた者には、語学科目の該当言語科目2単位が付与されます。付与単位の評価は“P”となります。付与される単位が卒業要件に算入されるか否かについては履修要覧を確認してください。

夏期休暇中開講

■ 募集説明会：4月

■ 申込受付期間：正式な日程はLoyola掲示版（留学関係）をご確認ください。

【英語圏】2021年4月19日（月）～21日（水）（予定）

【英語圏以外】2021年5月10日（月）～12日（水）（予定）

■ コース一覧

※「概算費用」は2019年度費用を基にした目安であり、支払い時の為替レート等により変動します。
※付与単位数はいずれも2単位です。

大学名	国名	学習言語 (単位付与領域)	授業期間(2019年度実績) ／滞在形態	概算費用 (万円)	2019年度 参加者数(人)
カリフォルニア大学 デービス校	アメリカ	英語	8月9日～9月6日(4週間)	ホームステイ：74 寮：87	9
			ホームステイ/学生寮(選択)		
ノースカロライナ大学 シャーロット校	アメリカ	英語	8月24日～9月12日(3週間)	76	11
			ゲストハウス(予定)		
プリティッシュ・ コロビア大学	カナダ	英語	8月6日～8月30日(4週間)	62	15
			ホームステイ		
マギル大学	カナダ	英語	8月5日～8月23日(3週間)	70	30
			学生寮		
マンチェスター大学	イギリス	英語	8月12日～9月6日(4週間)	50	20
			学生寮		
オークランド大学	ニュージー ランド	英語	8月19日～9月13日(4週間)	51	15
			ホームステイ		
フライブルク大学	ドイツ	ドイツ語	8月5日～8月28日(4週間)	47	16
			学生寮		
フランシュ・コンテ大学	フランス	フランス語	8月5日～8月30日(4週間)	58	15
			ホームステイ		
コインブラ大学	ポルトガル	ポルトガル語	8月26日～9月13日(3週間)	33	6
			学生寮		
ペルージャ外国人大学	イタリア	イタリア語	8月6日～8月30日(4週間)	37	13
			学生寮		

大学名	国名	学習言語 (単位付与領域)	授業期間 (2019年度実績) ／滞在形態	概算費用 (万円)	2019年度 参加者数 (人)
香港中文大学*	中国	中国語 (北京語)	8月5日～8月23日 (3週間) 学生寮	22	9
韓国カトリック大学*	韓国	コリア語	8月5日～8月17日 (2週間) 学生寮もしくはホテル	12	7
韓国外国語大学	韓国	コリア語	8月5日～8月21日 (3週間) 学生寮もしくはホテル	21	10

*マークのついたプログラムは、交換協定に基づき実施されるため授業料は免除。ただし、2019年度以前に入学した国際教養学部生が海外短期語学講座に参加し、単位付与を希望する場合には、単位数分の授業料が発生します。

春期休暇中開講

■募集説明会：10月

■申込受付期間：正式な日程はLoyola掲示版（留学関係）をご確認ください。

【英語圏】2021年10月19日（火）～21日（木）（予定）

【英語圏以外】2021年11月9日（火）～11日（木）（予定）

■コース一覧

※「概算費用」は2019年度費用を基にした目安であり、支払い時の為替レート等により変動します。

※付与単位数はいずれも2単位です。

大学名	国名	学習言語 (単位付与領域)	授業期間 (2019年度実績) ／滞在形態	概算費用 (万円)	2019年度 参加者数 (人)	2020年度 オンライン 概算費用* (万円)	2020年度 オンライン参加者数* (人)
カリフォルニア大学 デービス校	アメリカ	英語	2月13日～3月13日 (4週間) ホームステイ	60	14	16	4
ブリティッシュ・ コロンビア大学	カナダ	英語	2月24日～3月20日 (4週間) ホームステイ	52	15	10	12
マギル大学	カナダ	英語	2月24日～3月20日 (4週間) ホームステイ	54	13	—	—
ウーロンゴン大学	オーストラリア	英語	2月24日～3月20日 (4週間) ホームステイ	45	14	10	4
クイーンズランド 大学	オーストラリア	英語	2月17日～3月20日 (5週間) ホームステイ	54	15	—	—
オークランド大学	ニュージーランド	英語	2月17日～3月13日 (4週間) ホームステイ	51	12	—	—
オタゴ大学	ニュージーランド	英語	2月24日～3月20日 (4週間) ホームステイ	50	催行なし	11	1
アンジェ西 カトリック大学	フランス	フランス語	2月11日～3月8日 (4週間) ホームステイ	50	13	—	—
バルセロナ自治大学	スペイン	スペイン語	2月11日～3月8日 (4週間) ホームステイ	41	29	—	—
北京大学	中国	中国語	2月25日～3月22日 (4週間) 学生寮	40	催行なし	—	—
韓国外国語大学	韓国	コリア語	2月26日～3月26日 (4週間) ホテル	36	10	—	—

*2019年度以前に入学した国際教養学部生が海外短期語学講座に参加し、単位付与を希望する場合には、単位数分の授業料が発生します。

*カリフォルニア大学デービス校、ブリティッシュ・コロンビア大学、ウーロンゴン大学、オタゴ大学は2020年度にオンラインで実施しました。

②海外短期研修

海外の名門大学で実施される短期プログラムにおいて、外国語で専門科目を学びます。各プログラムで必要とされる語学能力が定められています。

海外短期研修には、①修得した単位を単位換算手続きにより本学の修得単位として認定するもの（認定単位の評価は"N"）②本学の開講科目として取り扱い、プログラム修了者に単位が付与されるもの（付与単位の評価は"P"）の2種類があります。認定・付与単位数はプログラムにより異なります。

夏期休暇中開講

■募集説明会：4月

■申込受付期間：正式な日程はLoyola掲示版（留学関係）をご確認ください。

【カリフォルニア大学ロサンゼルス校／デービス校（理工系）】2021年4月19日（月）～21日（水）（予定）

【オックスフォード大学・ロンドン大学・ビクトリア大学・ハベリアナ大学・ワルシャワ工科大学】2021年5月10日（月）～12日（水）（予定）

※トリア大学については、ドイツ語学科事務室に問い合せください。

■コース一覧

※「概算費用」は2019年度費用を基にした目安であり、支払い時の為替レート等により変動します。

大学名	国名	学習言語 (単位付与領域)	授業期間 (2019年度実績) ／滞在形態	概算費用 (万円)	2019年度 参加者数 (人)	2020年度 オンライン 概算費用* (万円)	2020年度 オンライン参加者数* (人)
カリフォルニア大学 ロサンゼルス校	アメリカ	英語	8月5日～9月13日 (6週間) 学生寮	107～	4	50	1
UCLA Summer Sessions (Section C) — UCLA 正規生も受講するサマーセッション。 注) 帰国後の認定単位数は履修科目により異なる。							
カリフォルニア大学 デービス校	アメリカ	英語	8月9日～9月6日 (4週間) ホームステイ/学生寮(選択)	ホームステイ: 72 寮: 85	11	—	—
理工系学生のためのプログラム。理工系分野の講義、研究室・企業訪問あり。理工共通1群。自由科目。 【付与単位】2単位							
ロンドン大学SOAS	イギリス	英語	8月19日～9月6日 (3週間) 大学寮	65	12	—	—
メディア入門/国際関係論/グローバル・ビジネス/環境と開発などのコースの中から希望するもの を一つ予め選択の上受講する。【付与単位】4単位							
オックスフォード 大学	イギリス	英語	8月26日～9月6日 (2週間) 学生寮	67	15	—	—
英国政治・メディアについて集中的に学ぶプログラム。英国文化・シェイクスピアに関する講義もあり。 【付与単位】2単位							
ビクトリア大学	カナダ	英語	8月3日～8月23日 (3週間) 学生寮	64	新規開講 (2020)	—	—
ビジネスにおけるコミュニケーションや異文化理解、経営、国際ビジネスについて学ぶプログラム。 期間中2つのモジュールを履修する。【付与単位】4単位							

大学名	国名	学習言語 (単位付与 領域)	授業期間 (2019年度実績) ／滞在形態	概算 費用 (万円)	2019年 度参加者 数(人)	2020年度 オンライン 概算費用* (万円)	2020年度 オンライン参加者数* (人)
教皇立ハベリアナ 大学	コロンビア	スペイン語	8月8日～9月3日(4週間)	40	8	—	—
			ホームステイ				
イスパニア語学科対象とし、より高度なイスパニア語運用能力の習得を目的とする。 【付与単位】2単位							
トリア大学	ドイツ	ドイツ語	8月5日～8月30日(4週間)	35	2	—	—
			学生寮				
ドイツ語学科3・4年次生対象とし、ドイツ語の読解、聴解、会話、記述能力の向上を目的とする。(問い合わせ先：ドイツ語学科事務室)【付与単位】2単位							
ワルシャワ工科大学	ポーランド	英語	8月31日～9月10日	25	5	—	—
			学生寮				
理工学研究科の修士課程1・2年次生を対象とし、航空機工学を受講するプログラム。(問い合わせ先：理工学研究科機械工学領域事務室)							

*「カリフォルニア大学ロサンゼルス校」については、研修で修得した単位が帰国後単位換算手続きをすることにより本学での修得単位として認定されます。その他のプログラムについては、本学の開講科目として取り扱われ、修了者には単位が付与されます(単位換算手続きは不要)。ただし、2019年度以前に入学した国際教養学部生が海外短期研修に参加し、単位付与を希望する場合には、単位数分の授業料が発生します。

*カリフォルニア大学ロサンゼルス校は2020年度にオンラインで実施しました。

春期休暇中開講

■募集説明会：10月

■申込受付期間：

【ノースカロライナ大学シャーロット校・西オーストラリア大学】2021年10月19日(火)～21日(木)(予定)

【パリ政治学院・ESSCA・デウスト大学】2021年11月9日(火)～11日(木)(予定)

■コース一覧

※「概算費用」は2019年度費用を基にした目安であり、支払い時の為替レート等により変動します。

大学名	国名	使用言語	授業期間(2019年度実績) ／滞在形態	概算費用 (万円)	2019年度参加者数 (人)
ノースカロライナ大学 シャーロット校	アメリカ	英語	2月21日～3月12日(3週間)	61	9
			ホテル		
理工系学生のためのプログラム。理工系分野の講義、研究室・企業訪問あり。理工共通1群。自由科目。【付与単位】2単位					
西オーストラリア大学	オーストラリア	英語	2月4日～2月22日(3週間)	ホームステイ：49 寮：58	15
			ホームステイ/学生寮(選択)		
法学の要素を含む英語学習・法学の講義とともに、司法機関等の見学を行い、法律知識の向上を図るプログラム。【付与単位】4単位					
パリ政治学院	フランス	英語	2月11日～3月8日(4週間)	74	3
			アパートメントホテル		
EUの政治・社会・経済に関する講座。講義内容に関連したレポートを作成。フランス語講座も受講可。【付与単位】4単位					
ESSCA	ハンガリー	英語	2月4日～3月14日(6週間)	31	9
			アパートメントホテル		
欧州ビジネスを中心に経済・文化等を学ぶ講座。ビジネス英語講座あり。 注) 帰国後の認定単位数は履修科目によって異なる。					

大学名	国名	使用言語	授業期間(2019年度実績) ／滞在形態	概算費用 (万円)	2019年度参加者数 (人)
デウスト大学	スペイン	イスパニア語	2月中旬～3月中旬(4週間) (予定)	52	新規開講 (2021)
			ホームステイ		
中級レベルのイスパニア語学講座に加え、スペインやバスク地方の文化等を学ぶプログラム。文化体験もあり。【付与単位】2単位					

*「ESSCA」については、研修で修得した単位が帰国後単位換算手続きをすることにより本学での修得単位として認定されます。その他のプログラムについては、本学の開講科目として取り扱われ、修了者には単位が付与されます(単位換算手続きは不要)。また、交換協定に基づき実施されるため授業料は免除となります。ただし、2019年度以前に入学した国際教養学部生が海外短期研修に参加し、単位付与を希望する場合には、単位数分の授業料が発生します。

③実践型プログラム

海外においてフィールドワーク等を通じて実践的に学ぶプログラムです。

各プログラムは、本学の開講科目として取り扱われ、事前指導に全て参加し、現地研修において所定の成果を修めた者には、全学共通科目(選択科目)として単位が付与されます。付与単位の評価は「P」となります。

【夏期休暇中実施プログラム】

募集説明会：4月、申込受付：4月下旬～5月上旬(プログラムにより異なる)

【春期休暇中実施プログラム】

募集説明会：10月、申込受付：10月下旬～11月上旬(プログラムにより異なる)

各プログラムの参加条件、申込方法等詳細についてはLoyola掲示板を確認してください。

■コース一覧

※「概算費用」は2019年度費用を基にした目安であり、支払い時の為替レート等により変動します。

プログラム名	実施時期	実施国	研修期間 (2021年度予定)	概算費用 (万円)	2019年度参加者数 (人)	2020年度オンライン概算費用* (万円)	2020年度オンライン参加者数* (人)
グローバルリーダーシップ・プログラム	夏期休暇中	台湾 (2021年度) (予定)	8月(7日間)	1	6	—	—
		イエズス会5大学(本学、西江大学(韓国)、輔仁大学(台湾)、アテネオ・デ・マニラ大学(フィリピン)、サナタ・タルマ大学(インドネシア))から学生が集い、テーマについて学内での事前・事後研修、合宿形式の討論、講演の聴講、フィールドワーク等を通じ、国際理解とは何かについて学ぶプログラム。 *2021年度は輔仁大学(台湾)にて実施予定。【付与単位】2単位					
AJCU—AP サービスラーニング・プログラム	夏期休暇中	タイ (2021年度) (予定)	8月(18日間)	10	3	—	—
※AJCU—AP=Association of Jesuit Colleges and Universities—Asia Pacific イエズス会の教育精神Men and Women for Others、with Othersに基づいた人間的な成長を目指し、環境保全、異文化理解、地域振興をテーマに、現代に生きる若者としてどのような社会貢献ができるかを、韓国・フィリピン・インドネシアの学生と共に学ぶことを目的とする。 *2021年度はXavier Learning Community(タイ)にて実施予定。【付与単位】4単位							

プログラム名	実施時期	実施国	研修期間 (2021年度予定)	概算 費用 (万円)	2019年度 参加者数 (人)	2020年度 オンライン 概算費用* (万円)	2020年度 オンライン参 加者数* (人)
アフリカに学ぶ	夏期休暇中	未定	8~9月(10日間程度)	55	14 (2019年度)	—	—
	春期休暇中	南アフリカ (予定)	2~3月(2週間)	40	14 (2018年度)	9.7	3
アフリカ地域の歴史と現在(政治・経済・文化・日常生活)について、現地での講義と実習を中心に学ぶプログラム。現地大学の他、現地企業、産業育成・農業関連施設、芸術・エコツーリズムなどのセンター、日本大使館、JICA事務所、国連関連施設などへの訪問を予定。【付与単位】2単位							
北部タイ・サービスラーニング・プログラム	春期休暇中	タイ	2月~3月(10日間)	25	13	—	—
	多くの社会的課題を抱える北部タイにおいて、イエズス会が設置した高等教育機関「ザビエル学習コミュニティ」と地域支援機関「暁の家」に滞在し、少数民族の村での対話やホームステイ、小学校での英語教育支援、コーヒー農園での収穫作業体験等の講座・実習・交流を二本柱とした学びのプログラムである。北部タイの課題と民族や宗教の多様性について、同世代の学生と共に学び合い、「他者のために、他者とともに」生きる意味を実験する。【付与単位】2単位						
メコン経済回廊スタディツアー：肌で感じるASEAN共同体	春期休暇中	タイ・カンボジア・ベトナム	2月~3月(10日間)	30	16	—	—
メコン地域内を繋ぐ「メコン経済回廊」のうち、南北経済回廊(夏期)あるいは東部・南部経済回廊(春期)を巡って移動し、経済特区・工業団地やインフラ視察、国際機関訪問、ホイ・アン(ベトナム)やアンコールワット(カンボジア)等の文化遺産訪問、国境地帯の人や物の移動の観察、大学での学生交流等を通じて同地域の経済社会発展のダイナミズムを体験的に学ぶプログラム。【付与単位】2単位							
インドの社会経済・人間開発に学ぶ：南インドのケララ州を事例に	夏期休暇中	インド	8月下旬~9月上旬(2週間)	26	7	—	—
南インドのケララ州の経済開発、労働問題、人間開発などの特徴や課題について、現地の状況に直接触れながら学ぶプログラム。【付与単位】2単位							
国際公務員をめざして(実務型国連集中研修)【学部3・4年生対象】	夏期休暇中	アメリカ	8月中旬(1週間)	30	0	—	—
ニューヨーク国連本部にて、国際公務員制度や採用プロセスの説明に加え、履歴書の書き方やコンピテンシー面接などの実践的演習を行う。【付与単位】2単位							
ジュネーブ国際機関集中研修	夏期休暇中	スイス	9月上旬(1週間)	25	24	—	—
	国際機関本部が集中しているスイス・ジュネーブに滞在し、関係機関の職員から直接受ける講義や質疑応答を通して各国際機関の役割や活動を学ぶとともに、世界が直面する様々な課題について理解を深める。【付与単位】2単位						
インド・サービスラーニング・プログラム	春期休暇中	インド	2~3月(3週間)	40~45	11	—	—
	インドのデリー・アグラ・バラナシ・コルカタに滞在し、インドの歴史や文化、宗教を学ぶとともに、マザーテレサが設立した「神の愛の宣教会」諸施設にてボランティア活動を行なう国際サービスラーニング・プログラム。【付与単位】4単位						
エストニア・スタディーツアー：持続可能な社会構築に向けた教育の可能性	夏期休暇中	エストニア	8~9月(1週間)	25	6	—	—
エストニアの教育省、大学、高校、NGOなどの活動を見学し、現地の学生とディスカッションを行うことで、エストニアの教育におけるICT導入や英語教育などの革新的取り組みと工夫を学び、持続可能な社会構築への示唆を得ることを目的とする。【付与単位】2単位							
国連の役割と機能(国連集中研修)	春期休暇中	アメリカ	2月中旬(1週間)	25	30	—	—
	ニューヨーク国連本部へ行き、現職国連本部職員から直に講義を受けたりディスカッションを行い、国連の役割と機能について理解を深める1週間の集中プログラム。国際社会が直面する課題を学び、将来国際社会で活躍できる人材を養成する機会を提供することを目的とする。【付与単位】2単位						
バンコク国際機関実地研修	夏期休暇中	タイとベトナム あるいは カンボジア	8~9月(9日間)	30	10	4.3	15
	多くの国際機関(国連機関と開発銀行)が集中するバンコクにて、それらのアジア太平洋地域統括本部を訪問し、国際機関の活動について現職職員から講義を受け、アジア太平洋地域が直面する「持続可能な開発目標(SDGs)」に関わる様々な課題について理解を深める。加えて、世界銀行やアジア開発銀行、国連等が実施するプロジェクト・サイトにてフィールド研修を行う。これらを通じ、国際協力分野における将来的なキャリア形成に役立つ。【付与単位】2単位						
ミャンマー・スタディーツアー	春期休暇中	ミャンマー	2月~3月(10日間)	26	4	—	—
急速な民主化と経済改革が進むミャンマーを訪れ、主に教育開発分野において、各国政府(日本・韓国)、国際機関、イエズス会等がそれぞれミャンマー国内で展開する活動について学ぶ。各機関や現地教育機関の関係者からの講義や現地学生との交流を通して、ミャンマー社会や同国における国際協力の現実について、理解を深めることを目指す。【付与単位】2単位							

* 2019年度以前に入学した国際教養学部生が実践型プログラムに参加し、単位付与を希望する場合には、単位数分の授業料が発生します。

* 「アフリカに学ぶ」「バンコク国際機関実地研修」は2020年度にオンラインで実施しました。

④ インターンシップ科目(短期)

* インターンシップ科目に2019年度以前入学の国際教養学部生が参加し、単位付与を希望する場合は、単位数分の授業料が発生します。

対象：2年次以上(科目・実習先の条件によって更なる学年制限がある場合も有り)
上智大学と協定を結んだ実習先(グローバル企業、国際機関・協力団体、報道機関など)でインターンシップ(就業体験)をし、事前・事後の講義受講や課題提出を行うことで全学共通科目(選択科目)の単位が付与されます。就業・実務体験を通じて、大学で学んだ専門知識や技能をグローバル社会の中でどのように活かすのか、あるいは自分が残りの大学生活で何を学ぶべきか、といった気付きを得るため、主体的に学ぶ姿勢が求められます。インターンシップは夏期・春期休暇期間中に2~6週間設定されています。

- ・ 対象科目：「経済同友会連携インターンシップ」(2年次生限定)
「グローバルインターンシップ(短期)」(2年次生以上)
「ボルボ・グループインターンシップ」(2年次生以上)



第Ⅱ部 | 交換留学

part 2. Sophia Exchange Program



本学と交換留学協定を結んでいる海外の大学との間で、学生を相互に派遣、受入する制度です。英語集中コース、ACUCA枠、3キャンパス枠交換留学もこれに準じます。上智大学交換留学生として留学する場合、留学期間中の学費は本学にのみ納入し、留学先大学での授業料は免除されます。(ただし、個人で語学講座等に参加する場合の費用は自己負担。また、語学力不足により語学講座履修を義務づけられた場合、費用負担が発生することがあります。)

1 交換留学出願手続等

Students of English-based Undergraduate/Graduate Programs should refer to P.62 General Information on Study Abroad.

A 募集時期

交換留学生の募集は年2回、ほぼ留学先大学の地域毎に行われます。具体的な募集時期や出願要領については、その都度Loyola掲示板で通知します。通常、留学開始時期の約10カ月前に学内選考があります。下記の募集、選考時期は目安であり、変更することがあります。また、すべての協定校が毎年募集を行うわけではありません。

	地域	募集案内	願書受付	学内選考結果	留学期間(目安)
春募集	ドイツ語圏・ロシア語圏・オセアニア・韓国・南米・南アフリカ	4月中旬	6月上旬	7月中旬	翌年2~3月から約4カ月または10カ月
秋募集	北米・ヨーロッパ(ドイツ語圏除く)・中南米・アジア(韓国除く)・ロシア語圏(一部)	7月下旬	10月上旬	12月中旬	翌年8~9月から約4カ月または10カ月

B 出願及び留学資格

	要件	備考
1	出願するまでに32単位以上を修得しておくこと。	出願は1年次でもよいが、留学は2年次より可能。 その場合は留学に出発する前の学期までに32単位以上を修得しておくこと。 ※院生はP.45参照
2	全科目のGPAが2.8以上であること。 (*注1)	総合平均点GPA (Grade Point Average) の計算方法： GPAとは各評価に与えられている評価点に各授業科目の単位数を乗じて得た積の合計を登録科目の総単位数で除して算出します。(4点満点) 【GPAの計算式】 $4.0 \times A \text{の修得単位数} + 3.0 \times B \text{の修得単位数} + 2.0 \times C \text{の修得単位数} + 1.0 \times D \text{の修得単位数}$ 履修登録科目の総単位数 (W,N,P,Xとして表示された科目を除く)
3	必要な外国語の要件を満たしていること。	英語圏出願者は、TOEFL iBT®のスコア提出が必須*。 その他、本学Loyolaダウンロードセンター内「交換留学協定校語学要件一覧」参照。 ※さらにUK出願者はIELTSのスコア提出が必須 ※TOEFL iBT®について、「MyBest™ scores」は使用できません。
4	学科長の承諾があること。	※院生は専攻主任と指導教員の承諾が必要
5	心身ともに健康であること。(*注2)	毎年4月に本学で行われる定期健康診断(内科診察も含む)の受診が必要。 9月入学者も必ず4月に受診すること。
6	経済的保証及び保証人の承諾があること。(*注3)	留学に必要な費用について、家族とよく相談し、経済的な保証を得てから出願すること。

重要

*注1：交換留学学内選考合格者は、留学予定大学へ上智大学から推薦され、その後先方大学の審査により入学許可が出て初めて交換留学が可能となります。

(最終的な留学可否は例年、出発の2、3カ月前に判明)

学内選考に合格しても、留学先大学の審査で入学不許可になり、交換留学ができない可能性もあります。(特にGPA3.0未満の場合、入学不許可となる場合があります)

*注2：学内選考合格者のうち健康面で経過観察が必要な場合は「条件付合格」とし、留学出発前までの間に適宜、医師の診察を受ける必要があります。最終的な留学の可否は出発の概ね5カ月前までに、医師の所見を参考に学長が決定します。

*注3：合格後、正当な理由なく辞退することは認められません。

C その他出願の留意点

(1) 学部生の留学可能年次について

協定校ごとに、留学可能年次が定められています。3年次生以上が留学が可能な大学には、1年次生は出願できません。2年次生以上が留学可能な大学には1年次生も出願できますが、本学入学後少なくとも1学期以上在籍し、本学の成績証明書を出願期間内に提出することが必要となります。

(2) 大学院生の出願について

協定校によっては大学院生の受入を行わない大学や、大学院生を学部生扱いでしか受け入れないところもあります。個別のケースについてグローバル教育センターから協定校に事前に問い合わせる必要があるため、希望者は学内願書受付期間の遅くとも1カ月前までに、①留学希望大学名、②受入希望研究科・専攻、③履修希望科目などを具体的に調べた上で、グローバル教育センターまで問い合わせてください。

なお、協定校からの回答により出願が可能となった場合でも、学内選考合格後先方大学の審査で受入不可となるか、学部レベルでの受入を提案されることもあります。

(3) 留学期間と回数

留学期間は1年間(約10~12カ月)もしくは1学期(約4カ月)となります。出願・配置大学決定後の交換留学の延長・短縮はできません。交換留学から継続して留学する場合は、学事センターで「一般留学」か「休学」の手続をしてください。学部在学中の交換留学(英語集中コースを含む)は原則として1人1回です。ただし、下記の交換留学プログラムを組み合わせる場合は、例外として2回の交換留学が認められますが、修業年限に算入する期間は1年間を上限とします。

- ・LAP + 交換留学
- ・SAIMSプログラム + 交換留学
- ・SAIMSプログラム + LAP

D 出願に必要な書類

- (1) 交換留学願書（本学所定用紙）
- (2) 希望大学記入シート（本学所定用紙）
- (3) 語学能力を証明する書類 ※英語圏はTOEFL iBT[®]スコア提出
- (4) 本人誓約書・保証人および学科長の承諾書（本学所定用紙）
- (5) 最新の成績通知書
- (6) 最新の英文成績証明書
- (7) 本学保健センター発行の健康診断証明書

* 出願要領や必要書類については、募集時にLoyola掲示板・ダウンロードセンターでお知らせします。

E 選考方法

- (1) 書類審査
- (2) 面接
本学教員による面接を行います。
- (3) 選考判定
語学能力（英語圏はTOEFL iBT[®]スコア）、学業成績（GPA）、面接点をもとに、総合点を算出します。この「総合点」の高い順に志望先大学へ割り振ります。

F 交換留学学内選考試験合格後の手続き

合格大学への推薦

学内選考試験に合格した者は、「交換留学候補者」として留学先大学へ推薦されます。その後、留学先大学で必要な出願書類を準備・送付し、先方での受入審査があります。下記の条件がすべて満たされた場合に、正式に留学が決定されます。

- ① 留学先大学から正式に入学許可がおりること。
- ② 学内選考試験合格後も全科目のGPA2.8以上を保つこと。
- ③ 心身ともに健康であること。（定期健康診断（内科検診を含む）に問題がないこと。）
- ④ 上智大学指定の海外留学保険および危機管理サービスに加入すること。

留学前に本学へ提出する書類

「留学願」、誓約書、留学先大学での入学審査のための必要書類等については、グローバル教育センターから通知します。

宿舎申込について

通常留学先大学を通して紹介または斡旋がありますが、地域により住宅事情が異なるので、場合によっては自分で住居を探す必要があります（ブラジル、ヨーロッパの一部等）。

留学先大学への主な提出書類（大学により異なります）

- ・ 留学先大学所定願書、英文推薦状、英文成績証明書
- ・ 本人または保証人の英文預貯金残高証明書
- ・ 英文の健康診断書（予防接種の記録を含む）（主にアメリカ）
- ・ Official TOEFL[®] Score（一部の大学では、学内選考合格後、ETSを通して、直接送付することが必要となります。スコアの有効期限に充分余裕のあるものが望ましい。）
- ・ 大学院生の場合、GRE（General Test, Subject Test）またはGMATのスコアを要求されることがあります。また、学部生より高い語学資格のスコアを要求されることがあります。

帰国後の提出物

交換留学生は、帰国後1カ月以内に「交換留学帰国レポート」を提出することが義務づけられています。

G 交換留学時に見込まれる費用

- (1) 留学先大学に授業料を納入する必要はありません。
- (2) 留学先大学指定の保険や、授業料以外の諸経費は個人負担が必要となる場合があります。
- (3) 旅費や現地での生活費は本人負担となります。1年間留学する場合、必要経費として120～200万円程が見込まれます。この金額は、通貨の換算レート、現地での生活の仕方、休暇の過ごし方によっても大きく変わってきます。
- (4) 本学学費は通常の請求にしたがって納入ください。
- (5) 日本出発から帰国日までの上智大学指定の海外留学保険と、危機管理サービスへの加入（約15万円）が必要となります。
- (6) 個人の希望で、学期開始前に留学先大学で開講される語学講座等に参加する場合、費用は個人負担となります。
- (7) 語学力不足により学期前あるいは学期中の語学講座参加を義務付けられた場合にも、費用負担が生じることがあります。

2 目的に合わせた交換留学プログラム

A 英語集中コース

交換留学協定校で行われている語学プログラムに参加し、英語を集中的に学びます。留学期間は秋学期の1学期間のみとなります。学費を本学に納入することにより留學先大学での授業料は免除されますが、渡航費・滞在費等は参加者の負担です。なお、単位付与を希望する場合は、学内選考合格後、語学科目「交換留学海外英語集中講座」の履修登録が必要です。なお、本プログラムは、通常の交換留学へ参加するには英語力が不足して出願が難しい者を主な対象としています。

【対象校】

- ①カンザス大学 (The University of Kansas) / アメリカ
プログラム名：Applied English Center Program (AEC)
授業期間：8月中旬～12月中旬
※2020年度の募集はありませんでした。
- ②クレイトン大学 (Creighton University) / アメリカ
プログラム名：Intensive English Language Institute (IELI)
授業期間：8月中旬～12月中旬
- ③ミシシッピ大学 (The University of Mississippi) / アメリカ
プログラム名：Intensive English Program (IEP)
※2020年度の募集はありませんでした。
- ④セント・メアリーズ大学 (St. Mary's University, Texas) / アメリカ
プログラム名：Intensive English Program (IEP)
授業期間：8月中旬～11月下旬
- ⑤ディーキン大学 (Deakin University) / オーストラリア
プログラム名：Deakin University English Language Institute (DUELI)
授業期間：8月下旬～翌年2月中旬 (12月に休暇期間あり)

【プログラム参加にあたって】

対象者：本学学部正規生 (留学時も学部正規生であること)

出願資格：①留学する前年度までに32単位以上を修得済みであること

②全科目のGPAが2.8以上であること

③学科長の承諾があること

④心身ともに健康であること

⑤経済的保証及び保証人の承諾があること

出願書類：Loyolaダウンロードセンターにて確認すること (※1)

選考方法：書類審査、面接

判定：GPA、面接点をもとに総合点を算出。総合点の高い順に志望大学へ割り振ります。

出願期間：10月上旬 (予定)

詳細はLoyola掲示板・ダウンロードセンターにて確認すること

【単位付与について】

単位は語学選択科目 (6単位分、成績評価は「P」) として認定されます。付与される単位が卒業要件に算入されるか否かについては履修要覧を確認ください。また、単位が付与されるためには以下の全ての条件を満たすことが必要となります。

1. 語学科目「交換留学海外英語集中講座」の履修登録を行うこと
2. 事前指導に出席すること
3. 現地での語学プログラム (135時間以上) に参加し、所定の成果を修めること (※2)
4. 帰国後に指定の英語検定試験 (※3) を受験すること
5. 交換留学に参加するうえでの各条件を満たすこと

※1：出願時には、1年次に受験したAC-TEAPのスコアをLoyolaの外国語検定試験画面から印刷し、提出すること。未受験の場合はTEAP (4技能)、TOEIC® (4技能)、TOEFL iBT® のいずれかのスコアコピーの提出が必要です。CASECのスコアは使用不可です。(ただし、点数は選考には影響しません。)

※2：英語のレベルが高い者 (通常の交換留学に出願できる程度のレベルがある者) は、現地での語学プログラム参加時間数が135時間に満たないことがあり、その場合、単位付与が不可となります。英語のレベルについて不安がある場合は、事前にグローバル教育センター窓口で相談してください。

※3：TOEIC® (4技能)、TOEFL iBT®、TEAP (4技能) のいずれかを各自受験し、スコアコピーを提出すること。

B Sophia AIMS (SAIMS) プログラム

ASEAN 政府主導の国際的な留学制度である AIMS Program による東南アジアの協定校への1学期の交換留学です。留学先では、言語・文化、国際ビジネス、経済学、食料科学技術など各大学が提供する様々な分野を学ぶ機会があります。

留学期間：1学期 / 対象者：学部生 / 使用言語：英語
 授業料：交換留学と同様に、留学中は上智大学のみ納入(留学先の学費は免除)
 募集時期および出願条件：通常の交換留学に準ずる

留学先

所在国	大学名	留学開始時期	所在地	留学可能年次
Indonesia	Bogor Agricultural University	春・秋	Bogor	2年次以上
Indonesia	Gadjah Mada University	秋	Yogyakarta	
Thailand	Chulalongkorn University	秋	Bangkok	
Thailand	Mahidol University	春・秋	Nakhon Pathom	
Philippines	Ateneo de Manila University	秋	Manila	
Philippines	De La Salle University	春・秋	Manila	
Malaysia	Universiti Kebangsaan Malaysia (The National University of Malaysia)	秋	Bangi, Selangor (Kuala Lumpur 郊外)	

C Sophia-Nanzan Latin America Program (LAP)

LAPは2015～2019年度の間、文科省の補助事業(「大学の世界展開力強化事業」として、南山大学、上智大学短期大学部と連携して実施してきた、中南米地域との留学プログラムです。補助事業期間は終了しましたが、中南米との学生交流を今後も継続するために、上智大学としてLAPを継続することを決定しました。LAPには提携大学である中南米6カ国13大学への長期留学、コロンビアへの短期留学、中南米からの受入留学生と交流できる上智でのスペイン語・ポルトガル語での演習科目や、主に長期留学対象のインターンシップの機会といった、様々なプログラムがあります。

■長期留学

留学期間：1学期または1年間
 対象者：学部生、大学院生
 留学先：ブラジル、メキシコ、ペルー、チリ、コロンビア、アルゼンチンの協定大学計13大学

所在国	大学名	所在国	大学名
アルゼンチン	Universidad Católica de Córdoba	コロンビア	Pontificia Universidad Javeriana
	Universidad del Salvador		Universidad de los Andes
ブラジル	Universidade de Brasilia	ペルー	Pontificia Universidad Católica del Perú
	Pontificia Universidade Católica de São Paulo	メキシコ	Universidad Iberoamericana Ciudad de México
	Universidade Estadual de Campinas		Universidad de Guanajuato
チリ	Pontificia Universidad Católica de Chile	メキシコ	Instituto Tecnológico y de Estudios Superiores de Occidente
			Instituto Tecnológico Autónomo de México

使用言語：スペイン語またはポルトガル語
 授業料：交換留学と同様に、留学中は上智大学のみ納入(留学先の学費は免除)
 単位：最大30単位まで換算可能
 出願条件：GPA2.8以上、留学先大学が求める語学力を有していること(学内選考があります)。その他、交換留学の出願条件に準じます。
 申込期間：春学期派遣は6月頃、秋学期派遣は10月頃を予定。通常の交換留学と同時期に募集を行います。

【履修推奨科目】

LAPを通じて中南米諸国へ長期留学する学生は、このプログラムのために特別に設けられた次の科目から最低1科目を、留学前もしくは留学後に履修することが強く推奨されます。本科目には中南米諸国からLAPを通じて上智大学へ来る留学生も参加します。(使用言語：スペイン語またはポルトガル語)
 ※これらの科目は本学全学部生に開講されています。

科目名	開講学期(開講元)
「日本・ラテンアメリカ比較文学」	春(イスパニア語学科)
「演習(在日ブラジル人教育・社会事情研究)1」	春(ポルトガル語学科)
「演習(在日ブラジル人教育・社会事情研究)2」	秋(ポルトガル語学科)

■短期留学

対象者：学部生

単 位：2単位付与

出願条件：イスパニア語既習者で、明確な目的意識と目標を持って、勉学に励むことができる学生(学内選考があります)

プログラム概要：

海外短期研修「教皇立ハベリアナ大学」

高度なスペイン語運用能力の習得とコロンビア文化への理解を深め、多様な文化背景をもつ学生と交流し、多文化への理解と適応力を高めます。イスパニア語既習者対象。

募集等詳細はp.24を参照。

■ACUCA 枠交換留学

上智大学はACUCA (Association of Christian Universities and Colleges in Asia) に加盟し、その活動の一環として行われる「Student Mobility Scheme (SMS)」を介して、交換留学生の派遣・受入を行っています。留学先の学費免除の他、ACUCA から渡航費および滞在費の補助がもらえる可能性があります。

対象者：本学学部正規生

使用言語：英語(一部除く)

留学期間：1学期間(秋出発のみ)

募集時期および出願要件：通常の交換留学に準ずる。

■3キャンパス枠交換留学(上智大学・西江大学・香港城市大学3キャンパス東アジア地域研究国際共同プログラム)

上智大学・西江大学(韓国)・香港城市大学(中国)の3つの大学で、それぞれの国に関する歴史、文学、経済、政治、国際関係、文化等に関する科目を英語で学び、東アジア地域に関する理解を深めるプログラムです。上智大学からの参加学生は、交換留学により、西江大学(School of Integrated Knowledge)と香港城市大学(College of Liberal Arts and Social Science)へそれぞれ1学期ずつ留学します。

対象者：本学学部正規生

使用言語：英語

留学期間：計1年

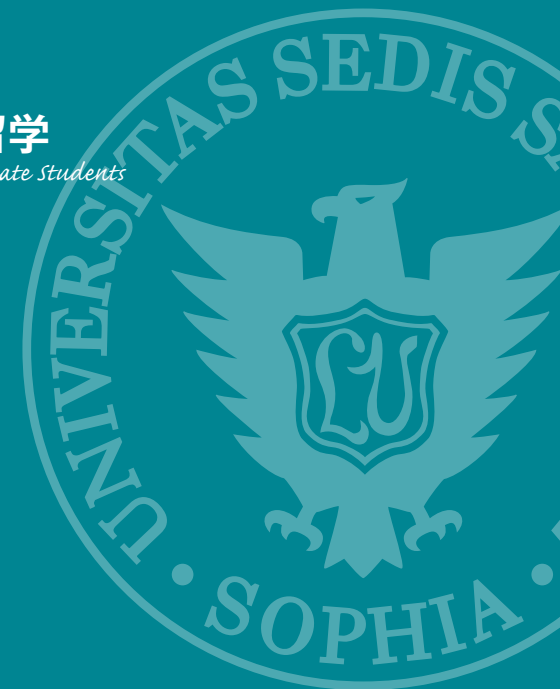
募集時期：年1回(9月下旬)、春出発・秋出発同時募集(予定)

出願要件：通常の交換留学に準ずる。



第Ⅲ部 | 大学院生の留学

part 3 . Study Abroad Program for Graduate Students



1 在学中の留学

A 交換留学プログラム

対象：博士前期1年次以上（1年次2学期目以降）

大学院生も通常の交換留学に出願できますが、それ以外にも以下の大学院生向けの交換留学プログラムがあり、出願要件は通常の交換留学に準じます。各プログラムの詳細は本学ホームページで確認するか、個別にグローバル教育センターにお問い合わせください。なお、通常の交換留学に出願する場合は、学内願書受付期間の1カ月以上前に、グローバル教育センターまで問い合わせる必要があります。

→P.31参照

WUT/ZHAW（理工学研究科対象）交換留学

対象：博士前期（1年次2学期以降）および後期課程

理工学研究科の大学院生を対象とした交換留学プログラムです。

留学先大学：Warsaw University of Technology (WUT)

ZHAW School of Engineering

募集時期：年2回（1月頃：秋出発分、6～7月頃：春出発分）

留学期間：1学期または1年間（2学期）

アンジェ大学（フランス）大学院生交換留学

対象：博士前期（1年次2学期以降）および後期課程

フランス研究に係る分野の大学院生を対象とした交換留学プログラムです。

募集時期：年1回（1月頃、秋出発のみ）

留学期間：1学期または1年間（2学期）

GSC-SMS枠交換留学

対象：博士前期（1年次2学期以降）

本学グローバル・スタディーズ研究科が加盟するGSコンソーシアム（Global Studies Consortium）の「Student Mobility Scheme (SMS)」による、加盟校内の博士前期課程の大学院生を対象とした交換留学プログラムです。

募集時期：年2回（1月頃：秋出発分、6～7月頃：春出発分）

留学期間：1学期または1年間（2学期）

フライブルク大学（ドイツ）ドクターコース交換留学

対象：博士後期のみ

ドイツ文学、神学、哲学を専攻している博士後期課程の大学院生を対象とした、交

換留学プログラムです。

募集時期：年2回（1月頃：秋出発分、6～7月頃：春出発分）

留学期間：原則2年間

B Graduate Institute（スイス・ジュネーブ）との3+2プログラム

The Graduate Institute of International and Development Studies（ジュネーブ国際・開発研究大学院）は、スイス・ジュネーブの中心地にあり、数多くの国際機関職員や外交官を輩出してきた大学院です。同大学院では、国際関係学、国際法、歴史学、経済学、人文学や開発学等の幅広い専攻分野が提供されています。このプログラムは、上智大学の学部で3年間（または3.5年間）学んだ後に、先方の大学院で2年間の修士課程を終えると、計5年間（または5.5年間）で学士号（上智）と修士号（Graduate Institute）が取得できるプログラムです。

希望者は先方の定める要件を満たし、通常の入学審査に出願して合格する必要がありますが、上智大学の推薦を通して同大学院に出願することによって、一般受験者より優先的に審査されます。

進学対象大学院：The Graduate Institute of International and Development Studies
対象専攻：Interdisciplinary Masters：International Affairs, Development Studies
Disciplinary Masters：Anthropology and Sociology, International Law, International Economics, International History, International Relations/Political Science

対象者：2021年11月時点で、上智大学学部3年次生の者

募集時期：年1回（10～11月頃） 進学時期：翌年秋学期

その他のプログラムについては、大学Webサイトを参照してください。

2 海外大学院特別進学制度

本学では、上智卒業後に海外大学院への進学を希望する学生が、上智の推薦を受けて出願する制度を設けています。大学によって優先的な審査や、一部費用の減免等のメリットがあります。

フォーダム大学大学院

フォーダム大学大学院の下記専攻に進学を希望し、先方の入学基準を満たす者は、本学の推薦に基づき通常の審査よりもシンプルな手続によって入学が可能です。また、一部授業料の減免措置も適用されます。

進学対象大学院：Fordham University Graduate School of Arts and Sciences

対象専攻：Elections and Campaign Management (ECM)

International Political Economy and Development (IPED)

Urban Studies (URST) Public Media (PMMA)

Humanitarian Studies (MSHS)

対象者：翌年3月または9月に本学を卒業見込みの者、または本学卒業生

募集時期：年1回(10~11月頃) 進学時期：翌年秋学期

コロンビア大学 Teachers College

Teachers Collegeの志望専攻での出願要件を満たす者は、本学の推薦を受け同大学院に出願することによって、一般受験者より優先的に審査されます。

進学対象大学院：Columbia University Teachers College

対象専攻：全てのプログラム

対象者：翌年3月または9月に本学を卒業見込みの者、または本学卒業生

募集時期：年1回(10~11月頃) 進学時期：翌年秋学期

コロンビア大学 School of Professional Studies

School of Professional Studiesの志望専攻での出願要件を満たす者は、本学の推薦を受け同大学院に出願することによって、一般受験者より優先的に審査されます。

進学対象大学院：Columbia University School of Professional Studies

対象専攻：全てのプログラム

対象者：翌年3月または9月に本学を卒業見込みの者、または本学卒業生

募集時期：年1回(10~11月頃) 進学時期：翌年秋学期

ジョージタウン大学大学院

ジョージタウン大学大学院の下記専攻の出願要件を満たす者は、本学の推薦を受け同大学院に出願することによって、一般受験者より優先的に審査されます。

進学対象大学院：Georgetown University Graduate School of Arts and Sciences

対象専攻：Department of Government (M.A. in American Government, M.A. in Conflict Resolution, M.A. in Democracy and Governance)

McCourt School of Public Policy (Master's in Public Policy, Master's in International Development Policy)

対象者：翌年3月または9月に本学を卒業見込みの者、または本学卒業生

募集時期：年1回(10~11月頃) 進学時期：翌年秋学期

ボストンカレッジ大学大学院

ボストンカレッジ大学大学院の下記専攻の出願要件を満たす者は、本学の推薦を受け同大学院に出願することによって、一般受験者より優先的に審査されます。

進学対象大学院：Lynch School of Education and Human Development

対象専攻：Master of Arts degree in International Higher Education

対象者：翌年3月に本学を卒業見込みの者、または本学卒業生

募集時期：年1回(10~11月頃) 進学時期：翌年秋学期



第IV部 | 留学に関する規則

part 4. Regulations



A 留学の資格

学部生で留学を希望する者は、留学出発までに本学に1年以上在学し、留学に出発する前の学期までに32単位以上を修得しておく必要があります。留学した年度は、休学して留学した年度を除き在学期間に算入されるため、学則第40条(注)の対象となります。(交換留学の学内選考出願は1年次でもできますが、留学開始は2年次以降となります。)

(注) 連続する2カ年において、学部学科が指定する授業科目を含む32単位以上を修得できない者については、学長が退学を決定する(学則第40条)

大学院生で留学を希望する者は、留学出発までに本学大学院に1年以上在学し、本学において修得すべき授業科目10単位以上を修得していることが必要です。ただし、指導教員及び専攻主任の許可がある場合は、本学大学院に1学期在学しており、10単位以上履修登録することで基準を満たすこととします。出願前の留意事項についての詳細は履修要綱を参照してください。

B 留学の期間

1. 留学期間は交換留学は1学期または1年、一般留学は1クォーター単位で申請が可能です。ただし、継続して留学が許可された場合は最長2年まで延長できます。交換留学の場合は出発前に留学期間が指定されます。

※交換留学の場合、「交換留学」の身分は最長1年(4クォーター)

但し、申込時に1学期(2クォーター)とした場合、その後「交換留学」の身分を1年(4クォーター)に延長することはできません。

※p.31(3)「留学期間と回数」参照

2. 2年間留学した場合、2年とも「在学期間」に算入されますが、「修業年限」に算入されるのはそのうちの1年間だけです。

※修業年限→卒業に必要な4年間 ※在学期間→本学に最長在学できる8年間

C 留学の延長または取消し

1. 許可された留学期間を超える場合は、その期間終了の1カ月前、かつ留学を希望するクォーター開始の前日までにあらためて留学願を提出し、許可を受けてください。
2. 留学をやむをえず取消す場合は理由書を添えてすみやかに手続きを行ってください。交換留学の場合はグローバル教育センターに、一般留学の場合は学事センター(学籍)に事前にご相談ください。

D 留学前後の手続一覧 (詳細については各該当箇所を参照のこと)

留 学 前

窓口	手続・提出書類等	注意
グローバル教育センター	「留学願(交換留学)」	提出前に学科の指導を受けること
	指定保険・ 危機管理サービス加入	出発1カ月前までに窓口で問い合わせること
学事センター(学籍)	「留学願(一般留学)」	提出前に学科の指導を受けること 「留学願(一般)」は留学の1カ月前かつ留学を希望するクォーターの前日までに提出すること

留 学 中

帰国後の単位換算に必要な書類を確認し、留学先大学で通常発行していない書類や、単位換算の申し込み時点で間に合わないおそれのある書類などは、余裕を持って留学先大学に請求してください。(P.47-50「単位換算について」参照)

帰 国 後

窓口	手続・提出書類等	注意
学事センター(学籍)	「帰国届」	
学事センター(教務)	◇修得単位換算願	◆P.47「履修登録について」参照 ◆登録されていない科目の単位は修得できないので必ず確認のこと ◆P.47-50「単位換算について」参照
グローバル教育センター	「交換留学帰国レポート」	交換留学の場合のみ

☆ 履修登録や単位に関する相談は、学事センター(教務)で行ってください。

E 履修登録について

履修計画

留学の種類や留学期間によって卒業の時期は異なりますが、計画通りの時期に卒業するためには、事前に履修計画をしっかりと立てておく必要があります。卒業の要件は、①修業年限を満たす②卒業に必要な所定の授業科目の単位を修得する、の2点です。この条件が満たされると、留学中であっても修業年限を満たした年度の3月に自動的に卒業となります(4月入学者の場合)。

前年度の履修科目や単位換算の予定を含め十分に計画を立て、学科の履修指導を受けてください。

F 単位換算について

留学中に修得した科目の単位は、最高30単位まで本学の単位に換算することができます。ただし単位数は、本学の基準により換算するので、留学先大学で修得した単位数のままでは算入されません。上智大学で開講している科目名や単位数に読みかえることなく、留学先大学で取得した科目を上智大学の基準で計算した単位数に換算します。その際、その換算により必修科目等の履修が免除されることもあります。

1. 必要書類

	手続・提出書類等	注意
留学先で取り寄せるもの	成績証明書	大学発行の大学印および署名のある原本 ※ Webからのプリントアウト、コピー不可。 ただし留学先がオセアニアの場合はMy eEqualsからの提出も可とする。
	成績の評価基準を示す文書	可否の基準(どの評価までが単位修得となるのか)が明記されているもの(成績証明書に記載があれば、それも可)
	留学先大学の学年暦	授業開始日・終了日、試験期間、休暇期間を示す書類 ※ HPなどのプリントアウト、コピーでも可
	各科目シラバス (講義内容が書かれた書類)	成績証明書と科目名が一致していること ※ HPなどのプリントアウトも可 ※ シラバスがない場合は、担当教員に事情を説明し必ず作成してもらうこと。シラバスがない科目については単位換算申請できません。
帰国後に受取るもの	クラススケジュール (各科目の時間割)	各科目の時間数(1科目あたりの総時間数あるいは授業の曜日・時限および1限あたりの時間)を示す書類 ※ シラバスや成績証明書等に記載されている場合は不要。
	修得単位換算願・単位換算計算用紙	学事センター(教務)窓口にて受け取る
	Evaluation Form ※ 国際教養学部のみ	国際教養学部事務室にて受け取る

* 帰国後、提出書類を元に単位数の計算根拠等の確認を行います。これらの書類がすべて揃わないと、単位換算手続きができないので、十分注意すること。

* 換算内容によっては、上記の書類を英語または日本語に翻訳する必要があります。不明な点は学事センターに問い合わせること。

* 「語学科目」を換算希望の場合

- (1) 内容が判定できる書類（シラバス、テキスト、テスト等）が必要です。
- (2) 原則として単位換算時には留学先の大学で修得した語学科目のレベルは問いませんが、各自のレベルに見合った科目を履修してください。なお、わからないことがある場合には事前に学事センター（教務）に相談してください。

* 全学共通科目の「高学年向け教養科目」に換算を希望の場合、原則として、ナンバリングでの説明やシラバスなどに高学年・上級生向けなどの記載が必要となります。

* “tutorial”や“independent study”など、一定の授業時間を持たず、レポートや論文などの成果物をもって成績評価される科目があります。これらの科目を換算希望の場合は、論文と詳細な論文指導内容の提出を求められますので、担当教員にシラバスを作成してもらってください。

* 新型コロナウイルス感染症への対応として、2020年度および2021年度に留学する学生は、特例でオンライン科目の単位換算を可能としています。オンライン科目であっても、上記クラススケジュールの提出が求められますので、ご注意ください。

【注意】 大学によっては、必要事項が記載された書類が発行されていない場合があります。その場合は以下の書類を揃えてください。

- ① 授業内容や時間数に関しては担当教員のサインのある証明書
 - ② 学年暦や成績評価基準に関しては交換留学オフィス等発行の書類、もしくはHP等のプリントアウト
- 特に授業時間に関しては、曜日・時限のある詳しい記述が必要ですので、注意してください。

2. 単位換算の計算式

(1) アメリカ等大部分の大学

$$\frac{\text{1回の授業時間(分換算)} \times \text{週の授業回数} \times \text{科目の開講期間(週数)}}{\text{上智大学の基準時間}}$$

(2) スペイン、ブラジル等一部の大学

$$\frac{\text{1年間の総授業時間数} \times 60 \text{ (分換算)}}{\text{上智大学の基準時間}}$$

科目種別	基準授業時間数
講義・演習	675分(1単位)
外国語・演習	1,350分(1単位)
実験・実習	2,025分(1単位)
体育実技	1,350分(1単位)

* 単位換算の計算式の根拠となるクラススケジュールがないと換算はできないので、注意してください。

3. 単位換算願の手続

- (1) 帰国後、「修得単位換算願」および「単位換算計算用紙」に必要事項を記入します。
- (2) 前頁の必要書類をもって所属学科の指導を受け、「修得単位換算願」に指導印をもらいます。（卒業要件のどの科目区分に何単位分として認定してもらう予定か、また換算後の履修計画等を踏まえたうえで、換算を希望すること。）なお、学科指導を受ける前に、学事センターにて計算方法に間違いがないか、換算可能な単位数を確認しておくことを勧めます。
- (3) 帰国後3カ月以内に、前記必要書類を学事センター（教務）に提出してください。（換算が終わるまで約1カ月を要するので、履修登録の日程を踏まえ、提出の時期を考慮すること。成績証明書は返却しないので、注意すること。）連続して複数のプログラムに参加した場合は、全てのプログラムの終了・帰国後3カ月以内に提出することも可能です。

* 留学による単位換算を含む単位認定の取り扱い期間

春学期単位認定分として取り扱う期間：2021年1月23日（土）～2021年7月23日（金）
秋学期単位認定分として取り扱う期間：2021年7月24日（土）～2022年1月22日（土）

上記の期間内に全ての必要書類を提出することが必須となります。2019年度以前入学の国際教養学部生は学費請求の都合上、上記にかかわらず次学期の単位認定となる場合があります。

- (4) 換算に際し必要がある場合には、さらに書類の提出や面接を求められることがあります。
- (5) 換算が終わると教学支援システム“Loyola”の掲示板機能にて呼び出しを行なうので、必ず学事センター（教務）で換算後の修得単位換算願の写しを受け取り、卒業要件や今後履修すべき科目等よく確認してください。（単位換算をすると、卒業に必要な単位数の計算が複雑になるので十分な注意が必要です。不明な点は換算後すぐに相談すること。なお、この写しは再発行されない為、卒業まで大切に保管すること。）

(6) 換算に際し提出した書類はいかなる理由があっても返却できません。必ず事前に写しを取っておいてください。

4. 注意

(1) 留学による単位換算は1プログラムにつき1度しかできません。また、決裁後の換算内容の変更等も一切できません。単位換算はその後の履修計画や卒業要件に関わりますので、学科の先生と面談のうえ、慎重に行ってください。

なお、以下のことはできませんので、注意してください。

- ・ 郵送や代理人による申し込み。
- ・ 本学休学中に海外の大学で修得した科目の単位換算。
- ・ 体育以外の実技科目（例えばタイプライティング、ピアノ等音楽のレッスン、陶芸、デッサンなど）の単位換算。
- ・ オンラインで行われる授業科目の単位換算*。

※2020年度および2021年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、特例としてオンライン科目の単位換算が認められますが、2022年度以降の取り扱いについては未定です。

(2) 2022年度以降に留学に出発する学生は、単位換算の手続きや単位の計算方法が変更になる可能性があります。留学する年度の「留学ハンドブック」を必ず確認してください。

5. その他

- (1) 計算して例えば3単位となった科目の同種別科目を2つ合わせて6単位換算し、この6単位をもって4単位の必修科目等に充当させることがあります。
- (2) 学科科目として換算を希望する場合、換算する科目ごとに計算した結果、小数点第1位までの和をもって総換算単位とすることができます。(総換算単位の小点数以下は切り捨て)

(例) 学科科目

科目名	計算結果
国際政治	4.5
アメリカの政治	4.2
経済学	3.2
ジェンダー論	0.9

計算結果合計 = 12.8 単位
換算単位 = 12 単位

(3) 全学共通科目として換算を希望する場合も、前記(2)の方法に準じますが、各カテゴリー別(必修、選択必修(キリスト教人間学)、選択)に換算します。



第V部 | 留学に必要な準備

part 5. Preparation for Study Abroad

世界的な感染症の拡大に伴い、2021年3月現在、本学では学生の海外渡航(大学実施プログラムだけでなく、一般留学、休学中の留学(私費留学)も含む)も在校生の安全を考慮し、外務省の海外治安・感染症危険レベル2以上の地域は禁止としています。渡航に際しては最新の大学方針をHPで確認してください。

1 留学中の留意点

A 危機管理

自然災害、感染症、テロ、交通事故、暴力犯罪等に留学生が巻き込まれる可能性は常にあり、実際に本学学生が事故や盗難の被害などに遭ったケースも報告されています。

防ぎきれない突発事故がある一方、「自分の身は自分で守る」という意識を持って渡航し、日ごろから各自が注意することで未然に防止できる事件・事故も多くあります。

自分の身は自分で守る、ということを再認識し、現金や貴重品の取り扱いに注意する、暗い道の一人歩きは避ける、危険地域には近づかない、SNS上で個人の活動動向が容易に特定できるような発信は控えるなど、留学中は日本で生活する時以上に安全に注意して行動することが大切です。

渡航先の治安・医療事情の最新情報は出発前に必ず入手してください。また、現地警察・滞在先の在外公館の電話番号、保険会社の連絡先、留学先大学の緊急連絡先などは常に携帯しておくといざというときに役立ちます。

①上智大学の海外留学、派遣プログラムの実施判断基準

上智大学で公式に実施する派遣留学プログラム（長期の交換留学や短期プログラム等）では、渡航地域は危険情報・感染症危険情報の発出がない地域もしくはレベル1「十分注意してください」まで、レベル2以上の場合は、プログラムの取りやめを判断しています。また、現地の情勢悪化等があれば、派遣者の安全を優先し、現地状況を確認のうえレベルに関わらずプログラム実施の取りやめを判断することもあります。

自身で留学・渡航計画をする際も、外務省の危険レベルに留意して計画を立てると共に、不要不急な渡航の場合は、レベル2以上の地域への渡航は見送りすることも検討してください。

【外務省海外安全ホームページ】 <https://www.anzen.mofa.go.jp/>

安全な渡航・滞在のための情報を国・地域別に掲載しています。現地情勢や感染症の発生状況、安全対策の目安を4つのカテゴリ（次ページ参照）に分けて掲載しているほか、対象者ごとのお役立ち情報もあり、渡航先、滞在先の危険レベル、安全情報の収集に役立ちます。

同一国内でも地域により状況は大きく異なります。渡航前には現地の治安情報、渡航ルートや安全状況も十分考慮のうえ留学計画を立てるようにしてください。

【外務省世界の医療事情】

各地域の衛生医療事情やかかりやすい病気や怪我、および健康上の留意点、予防接種情報等が記載されています。

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/index.html>

【外務省の危険レベル】



危険レベル	説明
発出なし	危険情報や感染症危険情報は出ていないが、最新のスポット情報や安全対策基礎データ等を参照の上、安全対策に心がけてください。
1 「十分注意してください。」	その国・地域への渡航、滞在に当たり、危険を避けていただくため特別な注意が必要です。 [大学プログラムの実施は原則このレベルまで]
2 「不要不急の渡航は止めてください。」	その国・地域への不要不急の渡航は止めてください。渡航時は特別な注意を払うとともに、十分な安全対策をとってください。
3 「渡航は止めてください。（渡航中止勧告）」	その国・地域への渡航は、どのような目的であれ止めてください。 (現地に滞在している日本人の方々に対して退避の可能性や準備を促すメッセージを含むことがあります。)
4 「退避してください。渡航は止めてください。（退避勧告）」	その国・地域に滞在している方は滞在地から、安全な国・地域へ退避してください。どのような目的であれ新たな渡航は止めてください。

②危機管理ガイダンス

学期中には、各種大学プログラム参加者向けの危機管理ガイダンスを実施しているほか、私費留学や課外活動、学会参加等の海外渡航者も対象の「安全管理ガイダンス」（概要と実践編）を年数回実施していますので、渡航前に参加してください。

③渡航時の対応必要事項

留学中滞在先および連絡先の周知

留学期間中の緊急連絡先（現地の寮の電話番号、メールアドレス等）は家族、日本の知人、大学関係者（現地および本学）に必ず知らせてください。また、留学中に旅行で宿舎を長期間不在にするときや転居する場合も必要などところに必ず連絡してください。日本にいる家族・知人はあなたが思っている以上に心配しています。こまめな連絡を忘れないように心がけ、滞在国や地域で事件や事故、災害などがあった場合は、自分から家族へ連絡し、無事を知らせてください。

在留届とたびレジ

3カ月以上海外に在留する日本人は法律により最寄りの日本大使館・領事館に「在留届」を提出することが義務付けられています。留学先到着後速やかに手続きが必要で（出発前のオンライン登録も可能）。

「たびレジ」は、海外に3カ月未満滞在中に登録すれば、滞在先の最新の渡航安全情報や緊急事態発生時の連絡メール、いざという時の緊急連絡などが受け取れる外務省の海外旅行登録システムです。3カ月未満のプログラムに参加する方や留学先から第三国へ旅行する際には、旅行日程・滞在先・連絡先等を必ず登録してください。



B 海外留学保険および危機管理サービスへの加入義務について

交換留学をはじめ、海外渡航プログラムに参加することは、長期・短期を問わず語学力の向上や異文化対応能力を身につける絶好の機会となります。その一方で、安全で衛生管理の行き届いた日本社会に暮らす私たちには予想できないような環境や、不測の事態に対応しなければならないことも起こりえます。

上智大学ではこうした事態に対応できるよう、学生のみなさんの海外渡航時の危機管理体制を構築・運用しており、大学に届出を提出して海外渡航する学生のみなさんには全員、大学の指定する保険ならびに危機管理サービスに加入することを義務づけています。

●対象者

大学が関与するすべての海外渡航プログラムに参加する学生

(個人的な旅行などを除き、大学のプログラムの一環として海外に渡航する方。一般留学や休学留学の方も含まれます。)

No.	プログラムの種類
1	交換留学
2	海外短期プログラム(語学講座、短期研修、実践型プログラム)、インターンシップ科目
3	グローバル教育センターが提供する1、2以外のプログラム
4	学部・学科などグローバル教育センター以外が主催するプログラム* *ドイツ語学科・ドイツ文学科「在外履修」、総合グローバル学部「自主研究」、学生センター主催 海外プログラム、キャリアセンター「インターンシップ」等
5	一般留学・休学留学
6	研究発表(学会参加)・ゼミ合宿等による海外渡航・特別研究員DC1/DC2

海外での課外活動の実施は加入の要否を確認しますので、まずは学生センターに問い合わせください。

●指定保険ならびに危機管理サービス

本学では海外渡航保険と危機管理サービスについて、三井住友海上火災株式会社とエマージェンシーアシスタンス株式会社と企業包括契約を締結しています。

大学で実施するプログラムの他、休学や一般留学、学会等で大学宛に渡航の届け出のある海外渡航では全員下記aとb両方への加入が必要です。

渡航予定日の3週間前までにグローバル教育センター(2号館1階)でお問い合わせください。

〈上智大学海外渡航支援制度〉 問い合わせ先：グローバル教育センター

a. 海外留学保険 三井住友海上火災海外旅行保険(SOPHIA海外留学保険)

b. 危機管理サポート 危機管理サービス(OSSMA/オスマ)

同補償内容の海外旅行保険に比べ保険料が抑えられます。また、提携先との連携により、24時間365日対応の本学学生・保証人の方からの事故その他事項の相談用窓口を設け、海外渡航中のサポート体制を用意しています。

C メンタルヘルスについて

新型コロナウイルス感染症の世界的なパンデミックによる留学への影響は、留学を考えているみなさんの心の状態にも少なからず影響を与えているでしょう。

希望の留学先や日本の感染状況、感染拡大防止対策などで留学が決まる場合が多いかもしれませんが。状況の改善や選考の結果、最終的な渡航を待つ間、不安と期待の間で気持ちが揺れる、焦る、イライラする、泣きたくなる、無力感を抱くなどを経験することもあります。こうしたことは、自分にはどうすることもできない環境の中で先が見えないため、起こりやすい状態といえます。

今回の留学実現が難しいとわかったとき、すぐに気持ちを整理できず、先のことを考える余裕がなくなるのは当然のことです。留学を考える段階で、複数の選択肢を持てるように、調べたり、相談したりして下さい。理想的なものから、実現する可能性のあるものまで考えてみます。また、このような状況下ですので、急な予定の変更を余儀なくされる場合もあります。留学を見送らざるを得なかった時のことも考えておきましょう。

結果が思うようでなかったとき、長年目標にしてきた留学を今回はあきらめなければならなかったとき、どんなに心の準備をしても、目の前の何かが崩れるような思いになるかもしれません。悲しく、落ち込むこともあるでしょう。すぐには勉強や就職活動に手がつけられないこともあります。そんな時は、気持ちを抑えたり、大したことはないと自分に言い聞かせたりしないで、できるだけ自分の気持ちを感じて下さい。信頼できる人に話してみる、書き出してみることも助けになると言われています。ひとつの感情は、ずっと続くものではありません。強くなったり、弱くなったりを繰り返しながら、時間は経過し、気持ちは少しずつ変化します。楽しさや喜びが感じられるようになっていきます。

自分の力が及ばない状況下で大切なことは、目の前のできる範囲のことを続けることです。何もできなると感じる時は、今できそうなことを探してみてください。一部オンライン授業も継続し、生活のリズムを整えるのは容易ではありませんが、朝起きてカーテンを開けることから始めてみるのも大きなステップです。気持ちの切り替えにかかる時間は個人差があります。目標を見失ったとき、気持ちを切り替えることは簡単ではありません。希望地域の違いなどから、留学が実現しそうな人の話を聞くと、複雑な思いになるのも自然なことです。悲しい、悔しい、何に向けていいかわからない怒りなどの気持ちを否定する必要はありません。

幸いにして留学が決まったとき、「自分だけ行っていいのか」、「みんなの分も充実した留学にしなければ」等、様々なことを感じるかもしれません。分かち合える人と一緒に喜び、自分自身のための留学の機会にしてください。渡航までの間に、現地の状況や制限などを何度か調べ、現実に即した計画を立ててください。急な状況変化があることも、意識せざるを得ないでしょう。期待と不安で揺れる気持ちは出発まで続くかもしれませんし、現地に到着後も消えないかもしれません。バランスを保つためには、万が一のために備え、自分の力が及ぶ範囲のこと、目の前のできそうなことを積み重ねていくことが大切です。

カウンセリングセンターでは、留学やその他学生生活にまつわる様々な思いや気持ちを整理する手伝いをしています。保健センターでは、精神科医が心の健康相談にのっています。留学を検討する中で、迷いや、不安、落ち込み、イライラ、圧倒されそうな気持などを経験したら、相談してみましょう。

2 留学のための語学能力試験

A TOEFL iBT®テストについて

アメリカの非営利団体ETSが世界各地で実施し、英語を母語としない人々の英語コミュニケーション能力を測定する試験。最近ではTOEFL iBT®テストが導入され、指定されたテスト会場を予約し、テストセンターのコンピューターを用いて試験を受ける形式になっています。年に約40回、国内のテストセンターにて実施されています（主に土・日）。英文を読み、講義を聴いてその内容についてSpeakingで回答する問題があるなど、海外の大学で遭遇する場面を想定した問題形態で出題されます。

名 称：TOEFL iBT®テスト
 主 催：Educational Testing Service (ETS) <https://www.ets.org/toefl>
 問い合わせ先：国際教育交換協議会 (CIEE) TOEFL®テスト日本事務局
<https://www.cieej.or.jp/toefl/>
 ※受験に関わる一般情報
 プロメトリック(株) 予約受付センター 電話：03-6204-9830
 受 験 料：US\$ 245 (受験日の7日前まで)
 構 成：Reading, Listening, Speaking, Writingの4セクション
 所 要 時 間：約3時間(途中休憩10分間)

結 果：受験日より約6日後にオンライン上の自分のアカウント(My TOEFL Home)でスコアの確認が可能になります。発送されるスコア票にはETSから教育機関に発送されるOfficial Score Reportsと本人控えとして送られるTest Taker Score Reportの2種類があります。Test Taker Score Reportは本人が希望した場合のみ送付されます。ETSからスコア票が発送されるのは試験日から約11日後です。
 採点処理はETSで行われるため、結果到着が前後することもあります。
 日程に余裕を持って受験してください(送付先がアメリカ国外の場合、発送から到着まで4~6週間程かかります)。

スコア：TOEFL iBT®テストは120点満点(各セクション30点満点)。公式スコアの有効期間は受験日から2年以内。公式スコアの有効期間内はETSから教育機関へスコアを直送してもらうことが可能で、大学によってはこの方法でのスコア提出を求められます。なお、TOEFL ITP®テスト(団体向けTOEFLテストプログラム)のスコアは、一部の協定校でのみ認められます。

®=登録商標のこと

B IELTS™について

International English Language Testing System (IELTS™:アイエルツ)は、英語力を公正かつ多角的に評価するために開発された4技能テストです。海外留学・研修のために英語力を証明する必要がある場合に、世界各国で幅広く利用されています。ブリティッシュ・カウンシル、IDP:IELTSオーストラリア、ケンブリッジ大学英語検定機構が共同運営で保有しており、公益財団法人 日本英語検定協会と一般財団法人 日本スタディ・アブロード・ファンデーションは、日本国内における実施運営をしています。交換留学では、英国の協定校に出願する際には、必ずIELTS™のスコアが必要となります。

名 称：IELTS™ (International English Language Testing System)
 運 営 ①：公益財団法人日本英語検定協会
 問い合わせ先：公益財団法人日本英語検定協会 IELTS事務局
 ウェブサイト：<https://www.eiken.or.jp/ielts/>
 IELTS公式東京テストセンター
 (東京・横浜・札幌・仙台・埼玉・長野・金沢・静岡会場)
 TEL：03-3266-6852 Email：jp500ielts@eiken.or.jp

運 営 ②：一般財団法人日本スタディ・アブロード・ファンデーション (JSAF)
 問い合わせ先：一般財団法人日本スタディ・アブロード・ファンデーション (JSAF)
 IELTS公式テストセンター (JP112)
 TEL：03-6273-9356
 ウェブサイト：<https://www.jsaf-ieltsjapan.com/>

受 験 料：1人1回あたり25,380円(税込)
 実施日程・申込締切・結果発送時期：
 各運営母体で異なるため、上記ウェブサイトにて確認すること
 構 成：Listening(30分),Reading(60分),Writing(60分),Speaking(11~14分)
 ※交換留学出願のためには、「アカデミック・モジュール」を受験してください。

テ ス ト 結 果：1.0~9.0まで0.5刻みのバンドスコアで表示。成績証明書には、各セクションのバンドスコアと、総合評価としてオーバーオール・バンド・スコアの計5種類のスコアが表示されます。公式スコアの有効期限は筆記テスト実施日から2年以内となります。

™=商標のこと

3 留学費用について

A 滞在費について

留学先の地域、滞在期間、留学先(大学、語学学校等)、滞在先宿舎や休暇中の過ごし方および為替レートによっても変わりますが、滞在費として概ね次の金額が目安となります。

1年間留学する場合： 120～200万円程度

1学期間留学する場合： 70～120万円程度

※交換留学の場合、留学先大学での授業料は免除されます。→P.33参照

私費留学(一般留学・休学)の場合、上記金額に更に留学先授業料が必要となります。

滞在費以外にも、出発前に必要な経費もあります。留学前に全滞在期間中の留学費用の支弁証明書を求められることも多いので、十分な資金計画を立ててください。

滞在費以外に必要なもの(例)：

- 渡航費用
- ビザ取得費用
- 健康診断、予防接種費用
- 海外渡航保険・危機管理サービス加入費用 等

B 海外勉学中の上智大学学費について

形態	学費
・交換留学 ・一般留学(1年留学)	留学中も在学生として通常通り本学の学費が請求されます。 ・留学中の本学での在籍状態：交換留学／一般留学(1年以内)－「留学」 ※2019年度以前入学の国際教養学部生の場合、授業料は単位換算によって本学において修得したものとみなされる単位数が確定した時に請求します。 ※修学奨励奨学金や新入生奨学金などの学費減免系の奨学金または国による高等教育の修学支援新制度を受給している場合は、留学前に学生センターに相談してください。
1年を超えて留学する場合	一般留学の継続または交換留学後に一般留学に切り替えた場合、または複数の交換留学プログラムに参加したことにより留学期間が1年を超えた場合は、一部減額措置があります。 詳しくは学事センター学費担当にお問い合わせください。
・海外短期語学講座 ・海外短期研修 ・実践型プログラム	通常通り本学の学費が請求され、参加には別途プログラム費用がかかります。(一部プログラム費用が免除となるコースもあり)
インターンシップ科目(長期／中期／短期)	長期、中期、短期ともに通常通り本学の学費が請求されます。 ※2019年度以前入学の国際教養学部生の場合、予め指定された単位数分の学費が請求されます。
休学して留学	本学学費の減額措置があります。 詳しくは学事センター学費担当にお問い合わせください。

C 奨学金について

世界的な感染症の拡大に伴い、留学奨学金取り扱いにも変更が生じる場合があります。各奨学金の募集前には掲示が出ますので、LoyolaやHPで最新情報を確認してください。

留学に関する給付奨学金(返還不要)は、大きく分けて①公費奨学金(日本および各国の政府関係機関等から)、②民間財団基金や企業等の奨学金、③本学および留学先大学の奨学金の3種類があります。応募方法は、大学を通じて応募するものと個人で直接応募するものがあります。

大学を通じて応募する奨学金

下記奨学金は、本学で選考を行うものおよび本学から推薦された後に奨学金支給団体による選考が別途行われるものです。募集情報は都度Loyola掲示板または本学ホームページでお知らせします。

※2020年度は新型コロナウイルス感染拡大により、渡航を伴う留学を中止したため、主に2019年度の実績を掲載しています。

名称	対象	支給内容	条件等
日本学生支援機構(JASSO)海外留学支援制度(協定派遣)奨学金	交換留学生	地域によって 月額6-10万円 渡航支援金(条件有)	交換留学期内選考合格者を対象に募集。時期によっては割当がない場合もある。本学からは2019年度は年間102名採用。
海外留学奨励費	「一般留学」者	上限10万円(1学期) 上限20万円(2学期)	「一般留学」の形態で留学する者。(2019年度17名採用)
日本学生支援機構(JASSO)海外留学支援制度(大学院学位取得型)奨学金	海外の大学院にて修士・博士の学位取得を目指す学生	授業料(上限250万円)および地域によって 月額89,000円～148,000円	成績・語学力の基準、年齢制限あり。本学からは2019年度は3名採用。
ケルン奨学金	ドイツのケルン大学に留学する交換留学生	月額650ユーロ	交換留学期内選考後、派遣決定者の中から選考。年間1名採用。
よしや アイリーン 吉彌・愛琳 アイルランド留学奨励費	アイルランドへの交換留学生	15万円	交換留学期内選考後、派遣決定者の中から選考。年間1名採用。
大坂ドイツ留学奨励費	ドイツへの交換留学生	10万円	交換留学期内選考後、ドイツ文学科・ドイツ語学科に在籍する派遣決定者の中から選考。年間3名採用。

名称	対象	支給内容	条件等
大学の世界展開力強化事業後継事業 (SAIMS/LAP) 留学奨励費	SAIMS プログラム またはLAPの 交換留学生	渡航支援金5万円	原則、1大学につき1名に支給。
グローバルリーダー養成奨励費	海外短期研修 参加者/ 交換留学生	5~15万円	指定のプログラムで留学する者。2021年度は交換留学プログラム参加者を対象に支給予定。
上智大学篤志家 (理工学部同窓会) 奨学金	理工学部開講の 海外短期研修 参加者	8万円 (予定)	出願先：学生センター 対象：同プログラムに参加する理工学部および理工学研究科の学生。 出願時期や出願方法についてはLoyola掲示板を見ること。詳細は学生センターに問い合わせること。
ソフィア会奨学金	長期：交換留学生 短期：海外短期研修、実践型プログラム等	交換留学：JASSOに準ずる 短期・実践型：プログラムにより10万~40万程度	卒業生団体のソフィア会からの寄付により設立した奨学金。要件、募集時期は対象者に別途案内する。 2019年度実績： 交換留学 (長期) 4名 短期プログラム (短期) 11名
叡智が世界を繋ぐ奨学金	年度により異なる (19年度は短期、インターンプログラムの一部)	プログラムにより異なる (19年度はJASSO支給額に準じ、地域により6~10万円)	19年度実績：53名

その他、学生センターでは以下の留学中貸与奨学金 (日本学生支援機構) の募集を行っています。出願要件・期間等の詳細は学生センターに問い合わせてください。

- ・「第一種奨学金【海外留学支援制度給付者対象】」(無利子)
- ・「第二種奨学金【短期留学】」(3カ月以上1年以内に留学する者が対象、有利子)
- ・「第二種奨学金【海外】」(海外大学・大学院への進学者が対象、有利子)

個人で直接応募できる奨学金

Loyolaや日本学生支援機構のホームページを参照してください。

<https://ryugaku.jasso.go.jp/scholarship/>



General Information on Study Abroad



Due to the spread of the COVID-19, the University is suspending study abroad and activities that require overseas travel as of March 2021.

This includes not only the university-organized programs, but also general study abroad and study abroad during a leave of absence to areas where Ministry of Foreign Affairs of Japan (MOFA) has issued Overseas Travel/Infection Alert Level 2.

Please check the latest university policy on University website when planning a study abroad.

General Information on Study Abroad for Students in English-taught Undergraduate/ Graduate Programs

Students enrolled in the programs where English is the medium of instruction, such as FLA (Faculty of Liberal Arts), FST (Faculty of Science and Technology), SPSF (Sophia Program for Sustainable Futures / Department of Education, Department of Sociology, Economics, Department of Global Studies) etc. may study abroad through the Sophia Exchange Program or the General Study Abroad Program.

Students in those programs are regarded as being enrolled at Sophia while abroad, and may study abroad for one quarter or several quarters without taking a leave of absence. Also credits from an approved overseas institution may be transferred back to Sophia. Therefore they may graduate from Sophia in 4 years for the undergraduate students and in 2 years for the students in Master's Programs including the period of study abroad.

【Important】

Article 40* of University Regulations: (for undergraduate students only)

Students who fail to obtain 32 credits or more including subjects specified by undergraduate departments in two consecutive academic years** shall be dismissed from the university.

*Preferential Measures

Upon deliberation by the faculty meeting and with an approval from the president, a student who is in the third-year or above, and who has taken less than 32 credits in two consecutive academic years may be exempted from expulsion by Article 40, if the total number of credits taken divided by the number of total years of enrollment is more than 16 credits. In this case, the academic year which includes the period of leave of absence is not counted in the total period of enrollment but the credits earned shall be included in the total number of credits taken.

In the case of the students of the FLA and the English Programs in FST, the total number of credits earned divided by the number of semesters of enrollment should be more than 8 credits.

***“Two consecutive academic years” refers to two academic years of enrollment. If the student takes a leave of absence, the academic year that includes the period of leave of absence will not be counted as a part of the “two consecutive academic years,” and instead, the academic years before

and after the year of leave of absence will be considered as those “two consecutive years.” (For FLA and FST students, four semesters excluding the semester on leave of absence will be regarded as “two consecutive academic years.”)

NB : Students who plan to study abroad on their own and do not wish to transfer the credits from the study abroad back to Sophia may take a leave of absence from Sophia for the time they are away. But if they do so, their graduation will consequently be delayed. Regarding payment of fees, please refer to P.65

◎ Sophia Exchange Program

【Program Offered】

As of March 2021, 332 destinations for exchange program are available to Sophia students.

Applications for some institutions may not be accepted every year depending on the exchange balance of the incoming and outgoing students.

Information sheet of each institution and other materials are available on Loyola (Download Center).

【Advantages of Participation】

You can study abroad up to one year (4 quarters) without taking a leave of absence.

Therefore you may graduate from Sophia in 4 years for the undergraduate students and in 2 years for the students in Master's Programs including the period of study abroad. Once you are selected as an exchange candidate, the Center for Global Education and Discovery will assist with the application procedures of the prospective host institution.

【Credit Transfer】

For the undergraduate students, up to 30 credits obtained at the host institution can be transferred to Sophia, subject to approval by the chairperson of each student's department.

Graduate students should inquire at the Center for Academic Affairs about credit transfer.

The transfer factor for credits basically depends on time spent in class. 675 minutes constitute one credit at Sophia. In the case of a foreign language class or seminar, 1,350 minutes are regarded as one credit.

Credits should be calculated to the first decimal place.

The formula is as follows:

minutes of the class × times per week × number of weeks ÷ 675 (or 1,350) =
number of the credits which may be transferrable to Sophia

In some cases, transferred credits may be combined together: for example,
4.5+4.2+3.2+0.9 credits may be combined together as 12 credits.

Required Documents for Credit Transfer

The following documents should be submitted to the Center for Academic Affairs within three months after returning from overseas.

- ① Credit transfer application form and calculation form (available at the Center for Academic Affairs)
- ② Evaluation Form (FLA only, available at the FLA office)
- ③ Documents issued by the host university
 - Official transcript (original in English)
 - Document which shows the grading system (may be indicated on the official transcript)
 - Course descriptions / syllabus
 - Course schedule
 - Academic calendar

* To transfer credits for the language courses, documents such as syllabus and textbooks are necessary to check the content of the course.

If you were placed in an appropriate level at the host institution, level of the language course taken while abroad do not need to be the same as the level of courses taken at Sophia. If you have any question, please consult with the Center for Academic Affairs.

* To transfer credits for courses such as “tutorials” and “independent study”, please obtain syllabus that include details and outlines of the course, with specification of tasks and reports that were required.

Online courses taken during study abroad in 2020 and 2021 can be transferred as an exception due to COVID-19.

Note that class schedules of online courses will be required to transfer the credits.

Please note that the credit transfer procedure usually takes one month after submission, and the completed documents must be submitted in time to be transferred for each semester.

Application period to transfer credits into Spring Semester 2021 : Jan. 23 (Sat.) to Jul. 23 (Fri.), 2021

Application period to transfer credits into Autumn Semester 2021 : Jul. 24 (Sat.), 2021 to Jan. 22 (Sat.), 2022

When the credit transfer is approved, you will be notified via Loyola web system. Please come to the Center for Academic Affairs to pick up the copies of the approved documents. Please note that you will not be able to make any changes on transferred credits, once approved.

* Online courses taken during study abroad in 2020 and 2021 can be transferred as an exception due to COVID-19.

Courses taken in 2022 have yet to be decided.

* There is a possibility that the calculation of credit transfer may change for students going on study abroad from 2022.

Make sure to check the Study Abroad Handbook of the academic year of your study abroad.

◎ General Study Abroad Program

Students who plan to study abroad on their own at a degree-awarding institution and wish to transfer the credits back to Sophia must apply in advance to the General Study Abroad Program. Students who plan to apply for General Study Abroad Program should have finished at least 4 quarters and have obtained more than 32 credits at Sophia by the time they begin their General Study Abroad Program. (For graduate students, 10 credits or more are required.) They should submit the “Request for Study Abroad” (留学願) 1 month prior to the start of study abroad and by the day before the first day of the quarter.

General Study Abroad students may study abroad for one quarter or more quarters (in total up to 4 quarters). If students wish to extend the period, they can reapply for the study abroad program (in total up to 2 years). In this case, only one year is considered as residence requirement. Credit transfer arrangements are the same as those for the Exchange Program students. Students must apply independently for an approved institution and arrange their own accommodation. Another distinction between the Exchange Program and the General Study Abroad Program is that students must pay tuition and fees both to Sophia and the overseas institution.

◎ Tuition and Fees during Study Abroad

Exchange students will pay tuition and fees only to Sophia*, but General Study Abroad students must pay tuition and fees both to Sophia and to the overseas institution. Travel and living expenses should be covered by the students. The cost will vary greatly depending upon currency exchange rates, the student's life style and how he/she may spend the holidays.

Limited scholarships are available to the participants in the exchange program.

Please see P.59・60 for details.

*If exchange students participate in a language program of the host university before the regular courses start, they are responsible for the tuition fee for the course. This

also applies to spring and summer session programs at the host university.

★ **Payment arrangements for students who entered the Faculty of Liberal Arts on or before Academic year 2019**

After the credit transfer is finalized at Sophia, the bill for the tuition will be issued.

NB : Contact the Center for Student Affairs for questions about tuition support scholarship while studying abroad.

For tuition and other fees for the second year in study abroad, contact the Center for Academic Affairs (1st fl, Bldg. No.2) .

◎ **University-designated Study Abroad Insurance and Crisis Management Service**

All Sophia students planning to study abroad (including those by leave of absence or by General Study Abroad Program) are required to purchase a university-designated study abroad insurance and crisis management service for the period away from Japan. Insurance fees must be paid at the responsibility of a student, but at a discounted price. Please visit the Center for Global Education and Discovery (1 st fl, Bldg. No. 2) at least one month before departure to receive insurance information.

◎ **Sophia Exchange Program Application Procedures**

[A] Application Deadlines and Selections

Application deadlines and selection dates depend on the areas where the host universities are located. Internal selections are usually conducted about 10 months before the departure for study abroad.

Information on exchange partner institutions(P.72~85)are subject to change without notice.

Please refer to our website for the most updated information.

[B] Eligibility and Requirements

- ・ Grade Point Average of 2.8 or above
- ・ Sufficient language proficiency to study abroad*
- ・ Financial backing
- ・ Students who plan to apply for exchange program should have finished at least 2 semesters and have obtained more than 32 credits at Sophia by the time he/she begins the exchange period. (For graduate program students, 10 or more credits are required.)
- ・ Students who plan to apply for exchange program should take a medical check held by Sophia every year. Students may not be allowed to study abroad depending on the results of medical check.
- ・ Students who plan to apply for exchange program should purchase

required travel insurance and crisis management service (approx. ¥150,000/year) at Sophia.

- * Submission of TOEFL iBT® score is compulsory for the applicants for English-speaking institutions, even for native speakers.

[C] Notes of Importance

After internal screening at Sophia, nominated students will be screened by the host universities.

For students with the GPA below 3.0, the risk of rejection by the host universities becomes higher than those with the GPA 3.0 or above.

- (1) Number of semesters to be completed at Sophia before going on exchange

The year the students must be in at the start of the exchange period is indicated on the list of exchange partners. (Cf. P.74~) Freshmen may not apply for the universities indicated as “3,” but they can submit the application for the universities indicated as “2.” In addition, for exchange programs starting in the spring semester, those who entered in the autumn semester may have a chance to apply for the universities indicated as “3” (i.e. Students may be able to go on exchange from their 4th semester in some cases). For further details, consult with the Center for Global Education and Discovery.

- (2) Graduate students who wish to apply for the exchange program

Some exchange partner universities do not accept graduate students, and the office needs to make inquiries about individual case to a host university in advance. Please consult with the Center for Global Education and Discovery at least one month prior to the internal selection application deadline.

- (3) Period of study abroad

Period of study abroad will be either one year (10-12 months) or one semester (4 months). Students cannot change the period of exchange program after the results of the internal selection are finalized. However, if the academic calendar of the host university ends before the Second / Fourth Quarter of Sophia University, students may shorten their exchange period to take classes offered in the Second or Fourth Quarter (only applicable to one-year exchange students). For details, consult with the Center for Global Education and Discovery. A separate application must be filled in for “General Study Abroad” or “Leave of Absence” when a student wishes to continue to study abroad after the exchange period. Students can only participate in the exchange program once, except in case of combining LAP / SAIMS program and exchange program.

The maximum period allowed to be included into the residence requirement (8 semesters) in case of combining the exchange program and LAP/SAIMS is also up to one year only.

[D] Application Materials

(1) Certificate of Language Proficiency

● English-speaking institutions

A TOEFL iBT[®] score is required for the internal selection and IELTS[™] score is required for UK institutions. Apart from this, each institution has the minimum language requirement.

In general, a TOEFL iBT[®] score is required. Some institutions accept TOEFL ITP[®] score and IELTS[™] score as well.

● German-speaking institutions

Applicants from departments other than Dept. of German Literature or German Studies should submit one of the following materials:

- 1) pre-level or above of the German Diploma in Japan
- 2) a certificate of the Goethe-Institut examination (B1 or above)
- 3) a letter of recommendation from an instructor of Sophia which indicates applicant's level of language proficiency in the German language

● French-speaking institutions

Applicants from departments other than Dept. of French Literature or French Studies should submit one of the following materials:

- 1) a certificate of DELF B1 or TCF B1 or DAPF level 2 (仏検2級) or above
- 2) a letter of recommendation from an instructor of Sophia which indicates applicant's level of language proficiency in the French language

● Spanish-speaking institutions

Applicants from departments other than Dept. of Hispanic Studies should submit one of the following materials:

- 1) a certificate of DELE B1 or above
- 2) a letter of recommendation from an instructor of Sophia which indicates applicant's level of language proficiency in the Spanish language

● Italian-speaking institutions

Applicants should submit a letter of recommendation from an instructor of Sophia who is a native Italian speaker in principle, or certificates which indicate applicant's sufficient level of language proficiency in the Italian language.

● Portuguese-speaking institutions

Applicants from departments other than Dept. of Portuguese Studies should submit a letter of recommendation from an instructor of Sophia or certificates which indicates applicant's sufficient level of language proficiency in the Portuguese language.

● Russian-speaking institutions

Applicants from departments other than Dept. of Russian Studies should submit a letter of recommendation from an instructor of Sophia or certificates which indicates applicant's sufficient level of language proficiency in the Russian language.

● Chinese-speaking institutions

Applicants should submit a letter of recommendation from an instructor of Sophia who is a native Chinese speaker in principle, or certificates which indicate applicant's sufficient level of language proficiency in the Chinese language.

● Korean-speaking institutions

Applicants should submit a letter of recommendation from an instructor of Sophia who is a native Korean speaker in principle, or certificates which indicate applicant's sufficient level of language proficiency in the Korean language.

(2) Application Forms for the Sophia Exchange Program

(3) Host Institutions Preference Sheet

(4) Pledge, Approval from your Guarantor and the Chairperson of the Department

(5) Most Recent Academic Record printed out from "Loyola"

(6) Most Recent Official Academic Transcript (in English)

(7) Health Certificate Issued by Sophia Health Center

* Information on application procedures will be announced on "Loyola" bulletin boards or download center. Please carefully read the information distributed by the Center for Global Education and Discovery.

[E] Internal Selections

- (1) Screening by application materials
- (2) Interview

The selection of the outgoing exchange students are generally conducted based upon ① proficiency in the foreign language (TOEFL iBT[®] score for English-speaking institutions), ② GPA, and ③ marks at the interview.

[F] Procedures after Internal Selection

Nomination to Exchange Partner Institution

Students who pass the internal selection will be nominated to a partner institution. The nomination from Sophia does not guarantee the acceptance from the host university. The host university will determine acceptance / rejection of the nominee based on its screening process.

The following conditions must be met in order to study abroad as an

exchange student;

- (1) To be officially accepted by an exchange partner institution
- (2) To keep grade point average of 2.8 or above after internal selection
- (3) To maintain good health in their mental and physical condition.

Documents to be submitted

Application form for Study Abroad, Pledge, etc.

The Center for Global Education and Discovery will inform the successful students of necessary paperworks. Housing arrangement will be made through host institution in most cases, but in some cases, students may need to look for a room on their own. Residential situations differ depending on regions or institutions.

Most frequently required documents by American universities: application forms, recommendation letter, transcript, financial statement, health form including immunization records, official TOEFL® Score*, etc.

*Some exchange partner institutions require the official score report to be sent through ETS after Sophia selection. It is therefore desirable that the score has enough remaining period of validity.

Some exchange partner institutions will require official scores of GRE or GMAT from graduate students after Sophia selection.

Exchange students must submit a “Report on Study Abroad ” within one month after returning to Japan.

◎ Information Available on Loyola

(Bulletin board and download center of the Center for Global Education and Discovery)

- Information on applications for Sophia Exchange Program
- Other study abroad programs
- Scholarships for study abroad etc.
- Course catalogs of exchange partner institutions
- Reports written by former exchange students

◎ The 5-year Concurrent BA-MA Programme

(Sophia University and the Graduate Institute of International and Development Studies)

Students chosen to participate in this program can receive a BA degree (4 years) from Sophia and a MA degree (2 years) from the Graduate Institute (GI) in Switzerland in total of 5 or 5.5 years, provided they successfully pass the screenings and complete both programs in accordance with each institution's study regulations.

Students will complete their first year at the GI as an exchange student. Application procedure and requirement will be announced at Loyola.

Center for Global Education and Discovery (1st fl, Bldg. No.2)

Office Hours	10 : 00~11 : 30 / 12 : 30~15 : 30 (Mon.~Fri.) Aug, Sep, Feb, March 12 : 30~15 : 30 (Mon.~Fri.)
Web site	https://www.sophia.ac.jp/jpn/global/index.html

交換留学協定校一覧

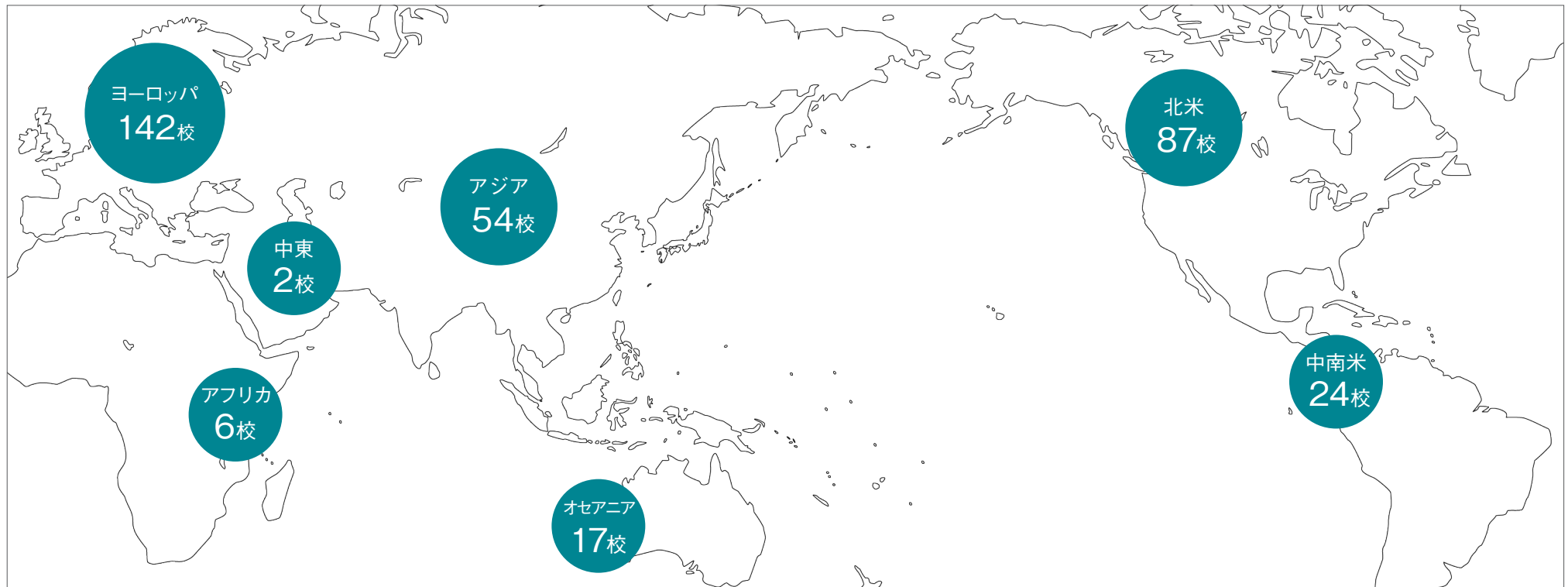
次ページから掲載されている一覧は学内選考の募集言語圏により分かれており、国順で記載されています。また、各言語圏で留学に必要なとされる語学能力について記載されています。学内選考出願時に必要な各大学ごとの語学要件は、Loyolaのダウンロードセンターを参照してください。

本学ホームページ「グローバル教育・留学」>「国際交流/留学」>「長期留学（交換留学・一般留学・休学留学）」のページから各協定校のホームページにアクセスすることができます。

https://www.sophia.ac.jp/jpn/global/international/exchange/exchange_partner/partner.html



2022年度出発交換留学の募集の有無は全ての大学で2021年4月1日現在未定です。また、掲載されている協定校は2021年3月1日現在の情報です。内容変更等については随時お知らせしますので、最新情報はLoyolaで必ず確認してください。



1) 出発時期

出発時期（春学期出発または秋学期出発）別に示しています。

各出発時期別の願書配布から留学開始までの学内選考の大まかなスケジュールは、P.29のA. 募集時期の表を参照してください。

2) 留学可能年次

数字で表しています。

例：2=2年次以上 3=3年次以上 大学院生=大学院生以上

※春出発の対象大学は全て留学可能年次が3年次以上だが、秋入学の学生については、2年次の春出発（4学期目）も可能な場合がある。詳細はグローバル教育センターに問い合わせること。

3) 語学要件

各大学の出願要件についてはLoyola>ダウンロードセンター>グローバル教育センターの「交換留学協定校語学要件」を参照してください。

協定校一覧

英語圏

語学要件：受験日から2年以内のTOEFL iBT® (P.56参照) の公式スコアの提出が必要。(「MyBest™ scores」の使用は不可。) UKの協定校を希望する場合は、TOEFL iBT®と併せてIELTS™ (P.57参照) のスコアの提出が必須。受験後、スコアが手元に届くまでの時間も見込んで、早めに受験しておくこと。

学内選考出願時に必要なスコアは希望する協定校により異なる。また、各セクションのスコア要件を求められる場合もある。語学要件を満たすスコアとして、TOEFL ITP® およびIELTS™ のスコアが一部の協定校で認められている。各協定校の語学要件等については、下記を確認すること。
Loyola > ダウンロードセンター > グローバル教育センター > 「交換留学協定校語学要件」

春学期出発 (学内選考の募集：前年の6月)				
所在国	大学名	所在地	留学可能年次 (P.73参照)	
Australia	The University of Adelaide	Adelaide, South Australia	3	
Australia	Australian Catholic University	6キャンパス有		
Australia	Griffith University	Nathan, Queensland		
Australia	La Trobe University	Melbourne, Victoria		
Australia	Macquarie University	North Ryde, New South Wales		
Australia	The University of Melbourne	Parkville, Victoria		
Australia	The University of Notre Dame	Freemantle, Sydney		
Australia	The University of Queensland	Brisbane, Queensland		
Australia	Royal Melbourne Institute of Technology (RMIT University)	Melbourne, Victoria		
Australia	The University of Sydney	Sydney, New South Wales		
Australia	University of Technology, Sydney	Ultimo, New South Wale		
Australia	The University of Western Australia	Perth, Western Australia		
Australia	Western Sydney University	Sydney		
Australia	University of Wollongong	Wollongong, New South Wales		
Fiji	The University of the South Pacific	Suva		
New Zealand	The University of Auckland	Auckland		
South Korea	The Catholic University of Korea	Puchon		
South Korea	Hankuk University of Foreign Studies	Seoul		
South Korea	Hanyang University	Seoul		
South Korea	Pusan National University	Beon-gil, Busan		
South Korea	Seoul National University	Seoul		
South Korea	Sogang University	Seoul		
South Korea	Sookmyung Women's University	Seoul		
South Korea	Yonsei University	Seoul		
South Africa	University of Pretoria, Faculty of Humanities	Pretoria		
South Africa	University of Stellenbosch	Stellenbosch		
秋学期出発 (学内選考の募集：前年の10月)				
所在国	大学名	所在地		留学可能年次 (P.73参照)
Brunei	Universiti Brunei Darussalam	Bandar Seri Begawan	2	
China	The University of Hong Kong	Hong Kong	2	

秋学期出発 (学内選考の募集：前年の10月)			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次 (P.73参照)
China	City University of Hong Kong	Hong Kong	2
China	The Chinese University of Hong Kong	Shatin, Hong Kong	2
China	The Chinese University of Hong Kong, Shenzhen	Shenzhen	2
China	The Education University of Hong Kong	Hong Kong	2
China	The Hong Kong University of Science and Technology	Kowloon, Hong Kong	2
China	University of Macau	Macau	2
China	Beijing Foreign Studies University	Haidian District, Beijing	2
China	China Foreign Affairs University	Beijing	2
China	Fudan University	Shanghai	2
China	Peking University	Beijing	2
China	Renmin University of China	Beijing	2
China	Tsinghua University	Beijing	2
China	Xiamen University	Xiamen	2
Taiwan	Fu Jen Catholic University	New Taipei City	2
Taiwan	National Chengchi University (NCCU)	Taipei	2
Taiwan	National Taiwan University	Taipei	2
Philippines	Ateneo de Manila University	Manila	2
Philippines	De La Salle University	Manila	2
Philippines	University of the Philippines	Quezon City	2
India	CHRIST (Deemed to be University)	Bangalore	2
Indonesia	Bogor Agricultural University	Bogor, West Java	2
Indonesia	Gadjah Mada University	Yogyakarta	2
Indonesia	Universitas Indonesia	Depok, West Java	2
Indonesia	Petra Christian University	Surabaya, East Java	2
Indonesia	Sanata Dharma University	Yogyakarta	2
Malaysia	University of Malaya	Kuala Lumpur	2
Malaysia	Universiti Teknologi Malaysia	Johor Bahru, Johor	2
Malaysia	Universiti Kebangsaan Malaysia	Bangi, Selangor	2
Singapore	Singapore Management University	Singapore	2
Singapore	Yale-NUS College	Singapore	2
Thailand	Chiang Mai University	Chiang Mai	2
Thailand	Chulalongkorn University	Bangkok	2
Thailand	Kasetsart University	Bangkok	2
Thailand	Mahidol University	Nakhonpathom	2
Thailand	Thammasat University	Bangkok	2
Vietnam	Foreign Trade University	Hanoi	2
Belgium	Universiteit Antwerpen	Antwerpen	3
Croatia	University of Zagreb	Zagreb	2
Croatia	Zagreb School of Economics and Management (ZSEM)	Zagreb	2
Cyprus	University of Cyprus	Nicosia	2
Czech	Anglo-American University	Prague	2

秋学期出発（学内選考の募集：前年の10月）			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次 (P.73参照)
Czech	Charles University, Faculty of Arts	Prague	2
Denmark	Aarhus University	Aarhus	2
Finland	Aalto University School of Business	Helsinki/Mikkeli	2
Finland	Hanken School of Economics	Helsinki	3
Finland	The University of Turku	Turku	2
France/ Hungary	Ecole Supérieure des Sciences Commerciales d' Angers	Angers/Budapest	3
France	ESSEC Business School	Cergy-Pontoise	3
France	Institut d'Etudes Politiques de Paris	Paris	3
France	Lille Catholic University	Lille	3
France	Université Paris-Dauphine	Paris	2
Hungary	Eötvös Loránd University	Budapest	2
Hungary	University of Pécs	Pécs	2
Iceland	University of Iceland	Reykjavik	2
Ireland	Dublin City University	Dublin	2
Italy	Università Carlo Cattaneo (LIUC)	Castellanza	2
Italy	Università Cattolica del Sacro Cuore	Milano	2
Italy	Università Ca' Foscari Venezia	Venezia	2
Lithuania	Vilnius University	Vilnius	2
Lithuania	Vytautas Magnus University	Kaunas	2
Luxembourg	Université du Luxembourg	Luxembourg	2
Netherlands	University of Amsterdam, Faculty of Social and Behavioural Sciences	Amsterdam	3
Netherlands	Leiden University	Leiden	2
Netherlands	Rotterdam Business School	Rotterdam	3
Norway	University of Oslo	Oslo	2
Poland	Jagiellonian University	Kraków	2
Poland	Warsaw University of Technology ※春学期出発もあり	Warsaw	理工学 研究科生
Romania	University of Bucharest	Bucharest	2
Slovenia	University of Ljubljana	Ljubljana	2
Spain	Universidad de Deusto	Bilbao	3
Spain	Universidad de Jaén	Jaén	3
Sweden	University of Gothenburg	Gothenburg	2
Sweden	Linköping University	Linköping	2
Sweden	Umeå University	Umeå	2
Sweden	Uppsala University	Uppsala	2
Switzerland	Franklin University Switzerland	Sorengo	2
Switzerland	The University of St. Gallen	St. Gallen	2
Switzerland	The Graduate Institute of International and Development Studies	Geneva	大学院生
Switzerland	Zurich University of Applied Sciences (ZHAW) ※春学期出発もあり	Winterthur	理工学 研究科生
Turkey	Istanbul Bilgi University	Istanbul	2

秋学期出発（学内選考の募集：前年の10月）			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次 (P.73参照)
U.K.	Birkbeck, University of London	London, Greater London	2
U.K.	The University of Birmingham	Birmingham, West Midlands	2
U.K.	University of Bristol	Bristol	2
U.K.	University of East Anglia	Norwich, Norfolk	2
U.K.	The University of Edinburgh	Edinburgh, Scotland	2
U.K.	University of Hertfordshire	Hatfield, Hertfordshire	2
U.K.	University of Leeds	Leeds, West Yorkshire	2
U.K.	Newcastle University	Newcastle upon Tyne	2
U.K.	The University of Reading	Reading, Berkshire	2
U.K.	The University of Stirling	Stirling, Scotland	2
U.K.	The University of Sheffield	Sheffield, South Yorkshire	2
U.K.	St Mary's University, London	London	2
U.K.	School of Oriental and African Studies, Univ. of London	London	2
U.K.	York St John University	York	2
Canada	University of Alberta	Edmonton, Alberta	2
Canada	The University of Manitoba	Winnipeg, Manitoba	2
Canada	McGill University	Montreal, Quebec	2
Canada	The University of British Columbia	Vancouver, British Columbia	2
Canada	University of Regina	Regina, Saskatchewan	2
Canada	University of Victoria	Victoria, British Columbia	2
Canada	King's University College at the University of Western Ontario	London, Ontario	2
U.S.A.	University of Arizona	Tucson, Arizona	2
U.S.A.	Arizona State University	Tempe, Arizona	2
U.S.A.	Boston College	Chestnut Hill, Massachusetts	3
U.S.A.	Canisius College	Buffalo, New York	2
U.S.A.	Clemson University	Clemson, South Carolina	2
U.S.A.	University of Colorado at Boulder	Boulder, Colorado	2
U.S.A.	University of Connecticut	Storrs, Connecticut	2
U.S.A.	California State University, Fullerton	Fullerton, California	2
U.S.A.	The Catholic University of America	Washington, D.C.	2
U.S.A.	DeSales University	Center Valley, Pennsylvania	2
U.S.A.	Duquesne University	Pittsburgh, Pennsylvania	3
U.S.A.	Fairfield University	Fairfield, Connecticut	2
U.S.A.	George Mason University	Fairfax, Virginia	2
U.S.A.	Georgetown University	Washington, D.C.	2
U.S.A.	University of Georgia	Athens, Georgia	2
U.S.A.	Gonzaga University	Spokane, Washington	2
U.S.A.	Haverford College	Haverford, Pennsylvania	3
U.S.A.	University of Hawaii at Manoa	Honolulu, Hawaii	2
U.S.A.	College of the Holy Cross	Worcester, Massachusetts	3
U.S.A.	John Carroll University	Cleveland, Ohio	2

秋学期出発（学内選考の募集：前年の10月）			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次 (P.73参照)
U.S.A.	Le Moyne College	Syracuse, New York	2
U.S.A.	University of Louisiana at Lafayette	Lafayette, Louisiana	2
U.S.A.	Loyola University Chicago	Chicago, Illinois	2
U.S.A.	Loyola Marymount University	Los Angeles, California	3
U.S.A.	Loyola University New Orleans	New Orleans, Louisiana	2
U.S.A.	Marquette University	Milwaukee, Wisconsin	2
U.S.A.	University of Miami	Coral Gables, Florida	2
U.S.A.	University of Minnesota	Minneapolis, Minnesota	2
U.S.A.	University of Missouri-Columbia	Columbia, Missouri	2
U.S.A.	The University of Montana	Missoula, Montana	3
U.S.A.	The University of North Carolina at Chapel Hill	Chapel Hill, North Carolina	2
U.S.A.	University of North Carolina at Charlotte	Charlotte, North Carolina	2
U.S.A.	North Carolina State University	Raleigh, North Carolina	2
U.S.A.	University of North Florida	Jacksonville, Florida	2
U.S.A.	Northwest Missouri State University	Maryville, Missouri	2
U.S.A.	The University of Notre Dame du Lac	Notre Dame, Indiana	2
U.S.A.	Occidental College	Los Angeles, California	2
U.S.A.	Pace University	New York City, New York	3
U.S.A.	University of Pennsylvania	Philadelphia, Pennsylvania	2
U.S.A.	University of Pittsburgh	Pittsburgh, Pennsylvania	2
U.S.A.	University of Portland	Portland, Oregon	2
U.S.A.	Rose-Hulman Institute of Technology	Terre Haute, Indiana	2
U.S.A.	Saint Peter's University	Jersey City, New Jersey	2
U.S.A.	San Diego State University	San Diego, California	2
U.S.A.	University of San Francisco	San Francisco, California	2
U.S.A.	San José State University	San José, California	2
U.S.A.	Santa Clara University	Santa Clara, California	2
U.S.A.	University of California, Santa Cruz	Santa Cruz, California	3
U.S.A.	The University of Scranton	Scranton, Pennsylvania	2
U.S.A.	Seattle University	Seattle, Washington	2
U.S.A.	Seton Hall University	South Orange, New Jersey	2
U.S.A.	St. John's University	Queens, New York	3
U.S.A.	Saint Joseph's University	Philadelphia, Pennsylvania	2
U.S.A.	Saint Mary's College of California	Moraga, California	2
U.S.A.	St. Norbert College	De Pere, Wisconsin	3
U.S.A.	University of St. Thomas	St. Paul, Minnesota	2
U.S.A.	Suffolk University	Boston, Massachusetts	2
U.S.A.	Tennessee Tech University	Cookeville, Tennessee	2
U.S.A.	The University of Texas at Austin	Austin, Texas	2
U.S.A.	The New School	New York City, New York	2

秋学期出発（学内選考の募集：前年の10月）			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次 (P.73参照)
U.S.A.	University of Massachusetts-Amherst	Amherst, Massachusetts	2
U.S.A.	University of Massachusetts Boston	Boston, Massachusetts	2
U.S.A.	University of Virginia	Charlottesville, Virginia	3
U.S.A.	Washington and Jefferson College	Washington, Pennsylvania	3
U.S.A.	University of West Florida	Pensacola, Florida	3
U.S.A.	University of West Georgia	Carrollton, Georgia	2
U.S.A.	Winona State University	Winona, Minnesota	2
U.S.A.	University of Wisconsin-Madison	Madison, Wisconsin	2
U.S.A.	University of Wisconsin-Whitewater	Whitewater, Wisconsin	3
U.S.A.	Wittenberg University	Springfield, Ohio	2
U.S.A.	Xavier University	Cincinnati, Ohio	3
U.S.A.	York College of Pennsylvania	York, Pennsylvania	2
Egypt	Egypt-Japan University of Science and Technology	New Borg El-Arab City	2
秋学期英語集中コース対象校（学内選考の募集：前年の10月）			
Australia	Deakin University	Geelong, Victoria	2
U.S.A.	Creighton University	Omaha, Nebraska	2
U.S.A.	The University of Kansas	Lawrence, Kansas	2
U.S.A.	University of Mississippi	Oxford, Mississippi	2
U.S.A.	St. Mary's University, Texas	San Antonio, Texas	2

ドイツ語圏

留学に必要なとされる語学能力：

ドイツ語技能検定試験（独検）準1級（2007年度以前の独検2級）もしくはゲーティンステイトゥートのドイツ語検定試験B1以上に合格しているか、それと同程度のドイツ語能力

出願に必要な書類：ドイツ文学科・ドイツ語学科の学生は証明書不要

上記以外の学科の学生は、次の①～③のいずれか1つを出願時に提出すること。

- ①ドイツ語技能検定試験（独検）準1級合格証明
- ②ゲーティンステイトゥートのドイツ語検定試験B1以上の合格証明
- ③ドイツ語能力を示す本学常勤教員の推薦状

※協定校によっては上記にかかわらず出願に必要な語学要件・証明書がある。各協定校の語学要件等については、下記を確認すること。 Loyola>ダウンロードセンター>グローバル教育センター>「交換留学協定校語学要件」

春学期出発のみ（学内選考の募集：前年の6月）			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次 (P.73参照)
Austria	Karl-Franzens-Universität Graz	Graz	3
Germany	Universität Bayreuth	Bayreuth	
Germany	Freie Universität Berlin	Berlin	
Germany	Technische Universität Berlin	Berlin	
Germany	Rheinische Friedrich-Wilhelms-Universität Bonn	Bonn	
Germany	Hochschule Bremen	Bremen	
Germany	Katholische Universität Eichstätt-Ingolstadt	Eichstätt	
Germany	Europa-Universität Viadrina Frankfurt (Oder)	Frankfurt (Oder)	
Germany	Albert-Ludwigs-Universität Freiburg	Freiburg	

春学期出発のみ(学内選考の募集：前年の6月)			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次 (P.73参照)
Germany	Martin-Luther-Universität Halle-Wittenberg	Halle	3
Germany	Ruprecht-Karls-Universität Heidelberg	Heidelberg	
Germany	Heinrich Heine Universität Düsseldorf	Düsseldorf	
Germany	Universität zu Köln	Köln	
Germany	Hochschule für Wirtschaft und Gesellschaft Ludwigshafen	Ludwigshafen	
Germany	Hochschule für Philosophie München	München	
Germany	Technische Hochschule Nürnberg Georg Simon Ohm	Nürnberg	
Germany	Universität Paderborn	Paderborn	
Germany	Universität Rostock	Rostock	
Germany	Universität des Saarlandes	Saarbrücken	
Germany	Philosophisch-Theologische Hochschule Sankt Georgen	Frankfurt am Main	
Germany	Universität Trier	Trier	
Germany	Eberhard Karls Universität Tübingen	Tübingen	
Germany	Universität Witten/Herdecke	Witten	
Liechtenstein	Universität Liechtenstein	Vaduz	
Luxembourg	Université du Luxembourg	Luxembourg	
Switzerland	Universität St. Gallen	St. Gallen	

秋学期出発のみ(学内選考の募集：前年の10月)			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次 (P.73参照)
France	Université de Franche-Comté, Besançon	Besançon	2
France	Université Bordeaux Montaigne	Pessac	2
France	EAC Group Business School of Arts, Culture and Luxury	Paris	2
France	ESCEM	Tours	2
France	ESSEC Business School	Cergy-Pontoise	3
France	Institut Catholique de Paris (ICP)	Paris	2
France	Institut d'Etudes Politiques de Grenoble	Grenoble	2
France	Institut d'Etudes Politiques de Paris	Paris	3
France	Institut National des Langues et Civilisations Orientales (INALCO)	Paris	2
France	Université Catholique de Lille	Lille	2
France	Université de Lille	Lille	2
France	Université Catholique de Lyon	Lyon	2
France	Université Jean Moulin Lyon 3	Lyon	2
France	NEOMA Business School Rouen Campus	Mont-Saint-Aignan	2
France	Université Panthéon-Assas Paris II	Paris	3
France	Université Paris-Dauphine	Paris	2
France	Université Paris X - Nanterre	Nanterre	2
France	Université de Strasbourg	Strasbourg	2
France	Institut Catholique de Toulouse	Toulouse	2
Luxembourg	Université du Luxembourg	Luxembourg	2
Switzerland	Université de Genève	Genève	3

フランス語圏

留学に必要なとされる語学能力：
 フランス文学科・フランス語学科の3年次程度のフランス語能力、もしくはフランス文部省認定資格試験の DELF B1 以上、もしくは TCF B1 以上に合格、または仏検2級取得程度

出願に必要な書類：フランス文学科・フランス語学科の学生は証明書不要
 上記以外の学科の学生は、次の①～③のいずれか1つを出願時に提出すること。

- ① DELF B1 以上または TCF B1 以上の合格証明書
- ② 仏検2級合格証明書
- ③ フランス語能力を示す本学常勤教員の推薦状

※協定校によっては上記にかかわらず出願に必要な語学要件・証明書がある。各協定校の語学要件等については、下記を確認すること。
 Loyola>ダウンロードセンター>グローバル教育センター>「交換留学協定校語学要件」

秋学期出発のみ(学内選考の募集：前年の10月)			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次 (P.73参照)
Belgium	Université Catholique de Louvain	Louvain-la-Neuve	2
Belgium	Université de Namur	Namur	2
Canada	Université Laval	Québec City	2
Canada	Université de Montréal	Montréal	2
France	Université d'Aix-Marseille	Aix-en-Provence	3
France	Université d'Angers	Angers	大学院生
France	Burgundy School of Business (旧 ESC Dijon)	Dijon	3
France	Université Catholique de l'Ouest, Angers	Angers	2

イスパニア語圏

留学に必要なとされる語学能力：イスパニア語学科2年次修了程度のイスパニア語能力

出願に必要な書類：
 イスパニア語学科の学生は証明書不要だが、出発時までに「基礎イスパニア語IIA-2」および「基礎イスパニア語IIB-2」を修得しなければならない。決定後であっても、これを満たせない場合は決定を取り消す。
 イスパニア語学科の学生のうち、DELE B1以上の合格証明書を提出した者は、上記2科目の履修登録前の出発であっても出願することができる。ただし、出発時までに履修した専攻外国語科目を修得できなかった場合は決定を取り消す。
 イスパニア語学科以外の学生は、次の①②のいずれか1つを出願時に提出すること。
 ① DELE B1以上の合格証明書
 ② イスパニア語能力を示す本学常勤教員の推薦状

※協定校によっては上記にかかわらず出願に必要な語学要件・証明書がある。各協定校の語学要件等については、下記を確認すること。
 Loyola>ダウンロードセンター>グローバル教育センター>「交換留学協定校語学要件」

春学期出発(学内選考の募集：前年の6月)			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次 (P.73参照)
Argentina	Universidad Católica de Córdoba	Córdoba	3
Argentina	Universidad del Salvador	Buenos Aires	

春学期出発（学内選考の募集：前年の6月）			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次 (P.73参照)
Chile	Universidad Alberto Hurtado	Santiago	3
Chile	Pontificia Universidad Católica de Chile	Santiago	
Peru	Pontificia Universidad Católica del Perú	Lima	
Peru	Universidad Pacifico	Lima	
Uruguay	Universidad Católica del Uruguay	Montevideo	
秋学期出発（学内選考の募集：前年の10月）			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次 (P.73参照)
Colombia	Pontificia Universidad Javeriana	Bogotá	3
Colombia	Universidad de los Andes	Bogotá	
Guatemala	Universidad Rafael Landívar	Guatemala City	
Mexico	El Colegio de México	Mexico City	
Mexico	Universidad de Guadalajara	Guadalajara	
Mexico	Universidad de Guanajuato	Guanajuato	
Mexico	Universidad Iberoamericana	México City	
Mexico	Universidad Iberoamericana León	Guanajuato	
Mexico	Universidad Nacional Autónoma de México	México City	
Mexico	Instituto Tecnológico Autónomo de México	México City	
Mexico	Instituto Tecnológico y de Estudios Superiores de Monterrey	Monterrey	
Mexico	Instituto Tecnológico y de Estudios Superiores de Occidente	Tlaquepaque	
Spain	Universitat Autònoma de Barcelona	Barcelona	
Spain	Universidad de Burgos	Burgos	
Spain	Universidad Pontificia Comillas	Madrid	
Spain	Universidad de Córdoba	Cordoba	
Spain	Universidad de Deusto	Bilbao	
Spain	Universidad de Granada	Granada	
Spain	Universidad de Jaén	Jaén	
Spain	Universidad de La Laguna	Canary Islands	
Spain	Universidad de Las Palmas de Gran Canaria	Canary Islands	
Spain	Universidad Loyola Andalucía	Córdoba	
Spain	Universidad Autónoma de Madrid	Madrid	
Spain	Universidad de Salamanca	Salamanca	
Spain	Universidad de Sevilla	Sevilla	
Spain	Universitat de València	Valencia	
Spain	Universidad Católica de Valencia San Vicente Mártir	Valencia	

ロシア語圏

留学に必要な語学能力：ロシア語学科2年次修了程度のロシア語能力

出願に必要な書類：ロシア語学科の学生は証明書不要
上記以外の学科の学生は、ロシア語能力を示す証明書のコピーまたはロシア語能力を示す本学常勤教員の推薦状を提出すること。

※協定校によっては上記にかかわらず出願に必要な語学要件・証明書がある。各協定校の語学要件等については、下記を確認すること。

Loyola>ダウンロードセンター>グローバル教育センター>「交換留学協定校語学要件」

春学期出発（学内選考の募集：前年の6月）			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次 (P.73参照)
Belarus	Belarusian State University	Minsk	3
Belarus	Minsk State Linguistic University	Minsk	
Russia	Far Eastern Federal University	Vladivostok	
Russia	Moscow State University	Moscow	
Russia	Petrozavodsk State University	Petrozavodsk	
Russia	Saint-Petersburg State University of Culture	St. Petersburg	
Russia	Ryazan State University	Ryazan	
Russia	Voronezh State University	Voronezh	
Uzbekistan	Tashkent State Institute of Oriental Studies	Tashkent	
秋学期出発（学内選考の募集：前年の10月）			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次 (P.73参照)
Kazakhstan	Al-Farabi Kazakh National University	Almaty	3
Russia	Herzen State Pedagogical University of Russia	St. Petersburg	
Russia	Moscow State Linguistic University	Moscow	
Russia	Saint Petersburg State University	St. Petersburg	

ポルトガル語圏

留学に必要な語学能力：授業についていけるポルトガル語能力

出願に必要な書類：ポルトガル語学科の学生は証明書不要
上記以外の学科の学生は、ポルトガル語能力を示す証明書のコピーまたはポルトガル語能力を示す本学常勤教員の推薦状を提出すること。

※協定校によっては上記にかかわらず出願に必要な語学要件・証明書がある。各協定校の語学要件等については、下記を確認すること。

Loyola>ダウンロードセンター>グローバル教育センター>「交換留学協定校語学要件」

春学期出発（学内選考の募集：前年の6月）			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次 (P.73参照)
Brazil	Universidade de Brasília	Brasília	3
Brazil	Pontificia Universidade Católica do Rio Grande do Sul	Porto Alegre	
Brazil	Universidade de São Paulo	São Paulo	
Brazil	Pontificia Universidade Católica de São Paulo	São Paulo	
Brazil	Universidade Estadual de Campinas	Campinas	
秋学期出発（学内選考の募集：前年の10月）			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次 (P.73参照)
China	University of Macau	Macau	3
Portugal	Universidade de Aveiro	Aveiro	

秋学期出発（学内選考の募集：前年の10月）			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次 (P.73参照)
Portugal	Universidade de Coimbra	Coimbra	3
Portugal	Universidade do Minho	Braga	
Portugal	Universidade do Porto	Porto	

イタリア語圏

留学に必要な語学能力：授業についていけるイタリア語能力

出願に必要な書類：

イタリア語能力を証明する書類、または原則としてイタリア語を母語とする本学イタリア語常勤教員の推薦状

※協定校によっては上記にかかわらず出願に必要な語学要件・証明書がある。各協定校の語学要件等については、下記を確認すること。

Loyola>ダウンロードセンター>グローバル教育センター>「交換留学協定校語学要件」

秋学期出発のみ（学内選考の募集：前年の10月）			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次 (P.73参照)
Italy	Università di Cagliari	Cagliari	2
Italy	Università Carlo Cattaneo (LIUC)	Castellanza	2
Italy	L' Università degli Studi di Napoli "L' Orientale"	Napoli	3
Italy	Università di Roma "La Sapienza"	Roma	2
Italy	Università Ca' Foscari Venezia	Venezia	2

韓国語圏

留学に必要な語学能力：授業についていける韓国語能力

出願に必要な書類：

韓国語能力を証明する書類、または原則として韓国語を母語とする本学常勤教員の推薦状

※協定校によっては上記にかかわらず出願に必要な語学要件・証明書がある。各協定校の語学要件等については、下記を確認すること。

Loyola>ダウンロードセンター>グローバル教育センター>「交換留学協定校語学要件」

春学期出発のみ（学内選考の募集：前年の6月）			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次 (P.73参照)
South Korea	Catholic University of Korea	Puchon	3
South Korea	Catholic University of Daegu	Gyeongbuk	
South Korea	Hankuk University of Foreign Studies	Seoul	
South Korea	Hanyang University	Seoul	
South Korea	Pusan National University, College of Humanities	Beon-gil, Busan	
South Korea	Seoul National University	Seoul	
South Korea	Sogang University	Seoul	
South Korea	Sookmyung Women's University	Seoul	
South Korea	Yonsei University	Seoul	

中国語圏

留学に必要な語学能力：授業についていける中国語能力

出願に必要な書類：

中国語能力を証明する書類、または原則として中国語を母語とする本学常勤教員の推薦状

※協定校によっては上記にかかわらず出願に必要な語学要件・証明書がある。各協定校の語学要件等については、下記を確認すること。

Loyola>ダウンロードセンター>グローバル教育センター>「交換留学協定校語学要件」

秋学期出発のみ（学内選考の募集：前年の10月）			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次 (P.73参照)
China	Beijing Foreign Studies University	Haidian District, Beijing	2
China	Central University of Finance and Economics	Beijing	2
China	China Foreign Affairs University	Beijing	2
China	Chinese University of Hong Kong (CUHK)	Shatin, Hong Kong	2
China	Dalian University of Technology	Dalian	2
China	Fudan University	Shanghai	2
China	Harbin Institute of Technology	Harbin	2
China	Nankai University	Tianjin	3
China	Peking University	Beijing	2
China	Renmin University of China	Beijing	2
China	Shanghai International Studies University	Shanghai	2
China	Tsinghua University	Beijing	2
China	Wuhan University	Wuhan	2
China	Xiamen University	Xiamen	2
China	University of Macau	Macau	2
Taiwan	Fu Jen Catholic University	New Taipei City	2
Taiwan	National Chengchi University (NCCU)	Taipei	2
Taiwan	National Taiwan University	Taipei	2

個人情報保護について

上智大学の個人情報保護への取組みについては下記URLをご参照ください。

<https://www.sophia.ac.jp/jpn/info/privacypolicy/index.html>

Please refer to the following URL on our approach to the Personal information protection.

<https://www.sophia.ac.jp/eng/info/privacypolicy/index.html>